

令和3年度

県民ニーズ調査
報告書

令和3年11月

福岡県

◇◇ 目 次 ◇◇

I. 調査概要	1
1. 調査目的	1
2. 調査設計	1
3. 調査の企画と実施機関	2
II. 対象者属性	3
III. 調査結果	4
1. 新型コロナウイルス感染症の影響について	4
(1) 暮らしの変化	4
① 本人または家族への影響	4
② 悩みやストレスの相談先	5
③ 余暇、趣味など日々の暮らしへの影響	6
(2) 仕事の変化	7
① 仕事への影響	7
② 働き方への影響	8
2. 県の施策について	9
☆ 県政の各分野において、行政に対して力を入れてほしいこと ☆	9
(1) 新型コロナウイルス感染症対策	9
(2) 県の広報	10
(3) 次代を担う「人財」の育成	11
(4) 「世界から選ばれる福岡県」の実現	12
(5) ワンヘルスの推進	13
(6) 商工業	14
(7) 観光	15
(8) 農林水産業	16
(9) 雇用、働き方	17
(10) 地域振興	18
(11) 移住・定住、企業誘致	19
① 移住・定住	19
② 企業誘致	20
(12) 子育て支援	21
(13) 教育	22
(14) 高齢者	23
(15) 障がいのある人	24
(16) 保健・医療	25
(17) 文化	26
(18) スポーツ	27
(19) 国際交流	28
(20) 防災	29
(21) 防犯・交通安全	30
(22) デジタル化	31
(23) グリーン社会	32
(24) 重点分野	33
IV. 資料編	34
< 調査票 >	34

I. 調査概要

1. 調査目的

県が進める施策に対する県民ニーズや新型コロナウイルス感染症の影響による暮らしや仕事の変化を把握し、今後の県政運営へ反映させることを目的とする。

2. 調査設計

- | | |
|-------------|--|
| (1) 調査地域 | 福岡県全域 |
| (2) 調査対象者 | 県内に居住する 18 歳以上の男女 |
| (3) 標本数 | 4,000 サンプル |
| (4) 標本抽出方法 | 層化二段無作為抽出
県内各市区町村の人口数を基に調査地点数を決定し、400 地点を無作為抽出。ただし、単純に比例配分すると集計・分析に耐えうる十分な資料が得られない地点が出るため、北九州、福岡、筑豊、筑後の 4 地域に分け、各地域 100 地点になるよう、均等に割り当てを行った。その後、調査地点ごとに「選挙人名簿」から 1 地点 10 名、合計 4,000 名を抽出した。 |
| (5) 標本抽出台帳 | 令和 3 年 8 月現在の選挙人名簿 |
| (6) 調査方法 | 郵送法 |
| (7) 調査期間 | 令和 3 年 9 月 30 日～令和 3 年 10 月 22 日 |
| (8) 回収数 (率) | 1,894 サンプル (47.4%) |
| (9) 集計方法 | 地点数を 4 地域で均等配分したため、以下の方法でウェイト値を算出し、加重集計を行う。
①各地域の調査対象年齢の人口を算出。
②各地域の人口を最も人口の少ない地域の人口で除し、人口比の係数を求める。
③各地域の有効回収数を人口の最も少ない地域の有効回収数で除し、サンプル数の係数を求める。
④人口比の係数をサンプル数の係数で除し、ウェイト値を求める。 |

(10) 地域区分 調査地域は下記のとおり、4地域に区分している。

地域	北九州地域	福岡地域	筑豊地域	筑後地域
政令指定都市	北九州市	福岡市		
市	行橋市 豊前市 中間市	筑紫野市 春日市 大野城市 宗像市 太宰府市 古賀市 福岡市 朝倉市 糸島市 那珂川市	直方市 飯塚市 田川市 宮若市 嘉麻市	大牟田市 久留米市 柳川市 八女市 筑後市 大川市 小郡市 うきは市 みやま市
町村	芦屋町 水巻町 岡垣町 遠賀町 苅田町 みやこ町 吉富町 上毛町 築上町	宇美町 篠栗町 志免町 須恵町 新宮町 久山町 粕屋町 筑前町 東峰村	小竹町 鞍手町 桂川町 香春町 添田町 糸田町 川崎町 大任町 赤福智町	大刀洗町 大木町 広川町

3. 調査の企画と実施機関

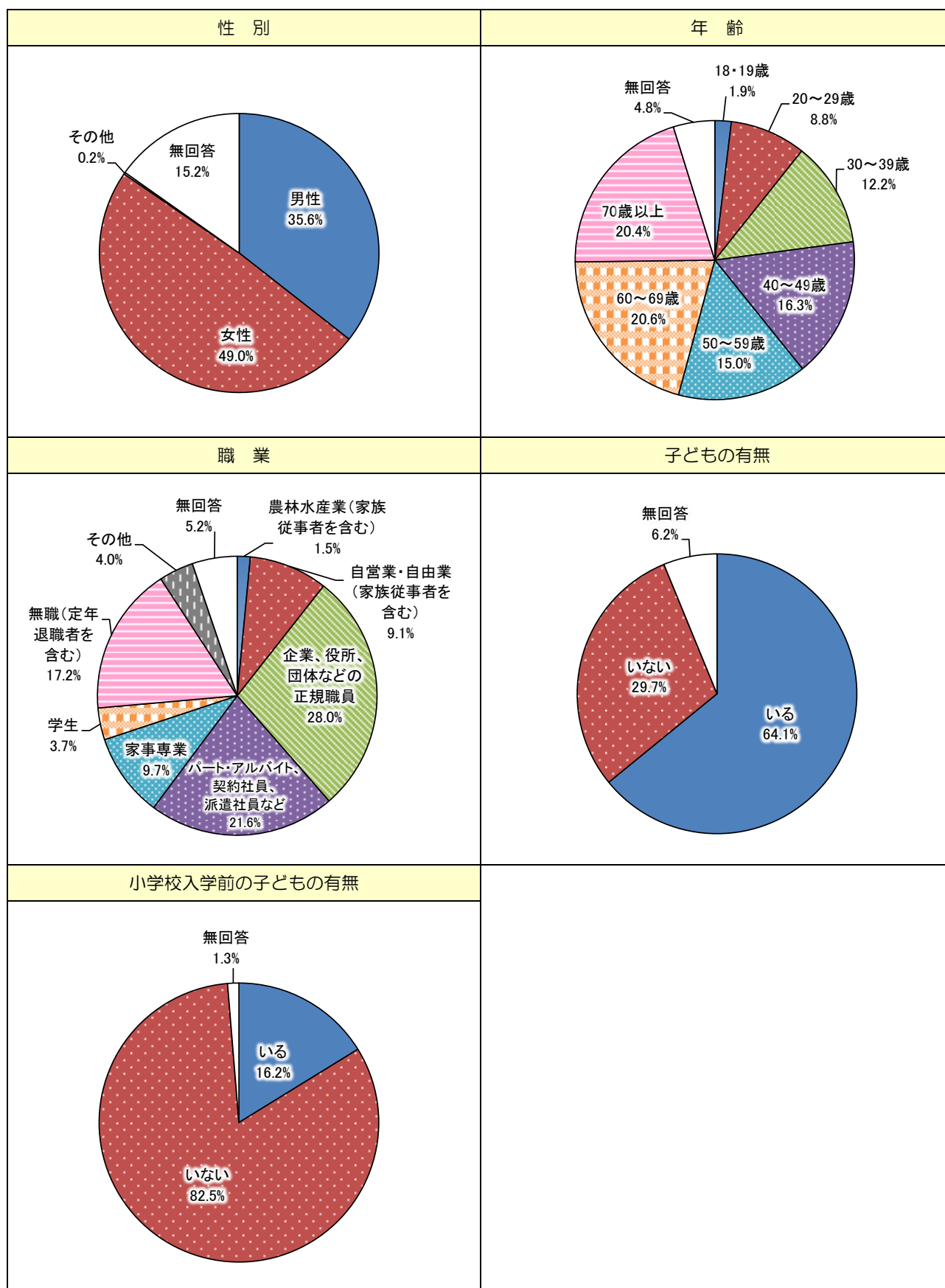
企画 福岡県 企画・地域振興部 総合政策課

調査実施機関 株式会社サーベイリサーチセンター 九州事務所

【 調査結果利用上の注意 】

- (1) 集計は小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表に示す選択肢は、スペースの関係で文言を短縮して表記している場合があるので、詳細は巻末の調査票を参照のこと。

II. 対象者属性



Ⅲ. 調査結果

1. 新型コロナウイルス感染症の影響について

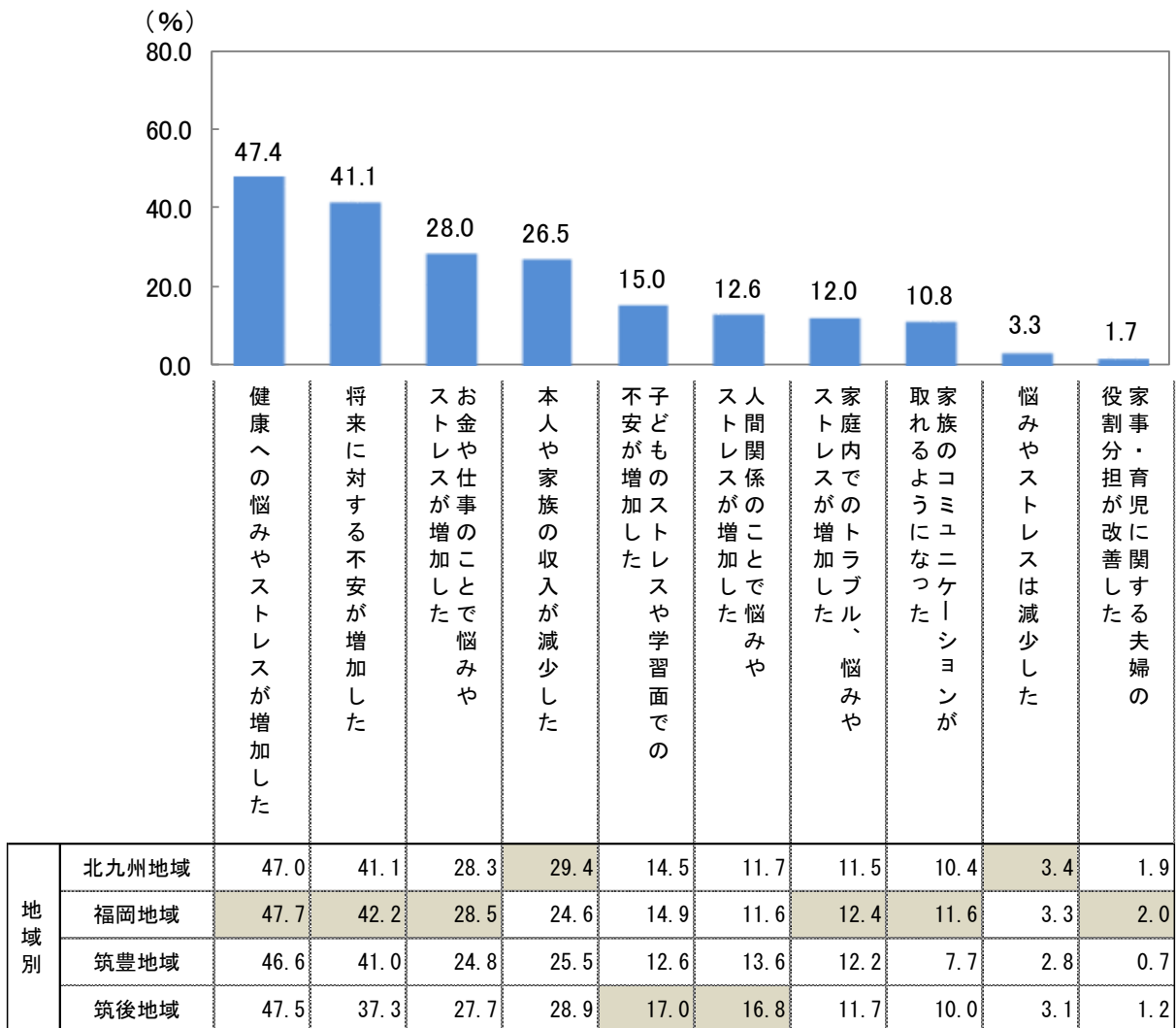
(1) 暮らしの変化

① 本人または家族への影響

県全体では、「健康への悩みやストレスが増加した」(47.4%)が最も高く、次いで、「将来に対する不安が増加した」(41.1%)、「お金や仕事のことで悩みやストレスが増加した」(28.0%)、「本人や家族の収入が減少した」(26.5%)の順となっています。

地域別にみると、どの地域でも「健康への悩みやストレスが増加した」が最も高くなっています。

本人または家族への影響

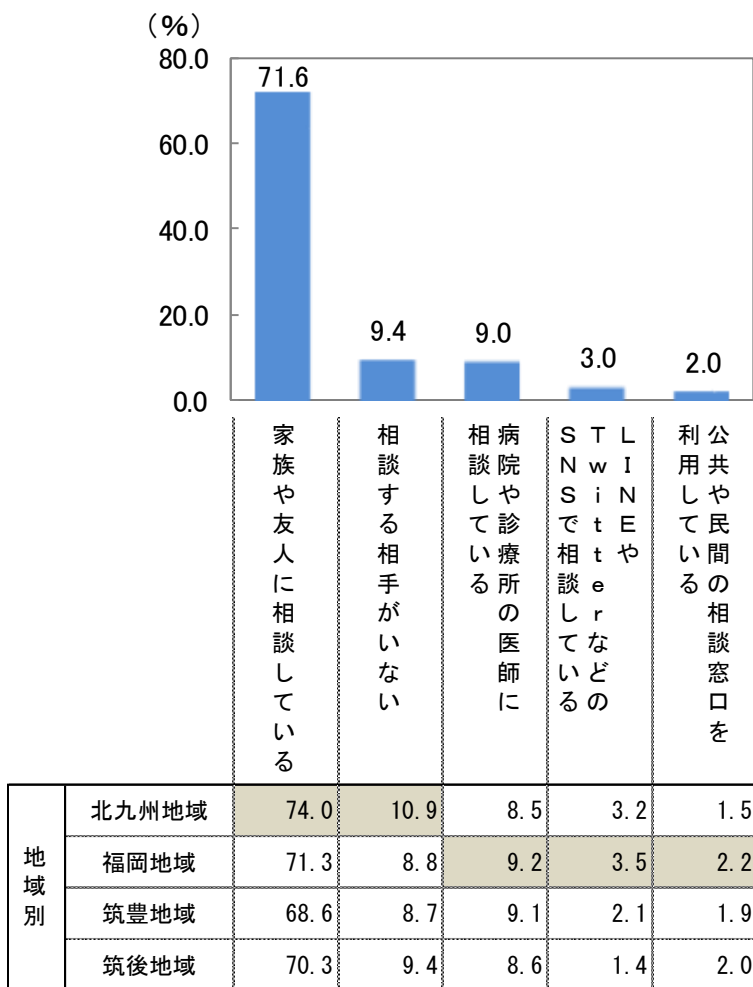


■ は4地域中で最も高い値の地域

② 悩みやストレスの相談先

県全体では、「家族や友人に相談している」(71.6%)が最も高く、次いで、「相談する相手がない」(9.4%)、「病院や診療所の医師に相談している」(9.0%)の順となっています。
 地域別にみると、どの地域でも「家族や友人に相談している」が最も高くなっています。

悩みやストレスの相談先

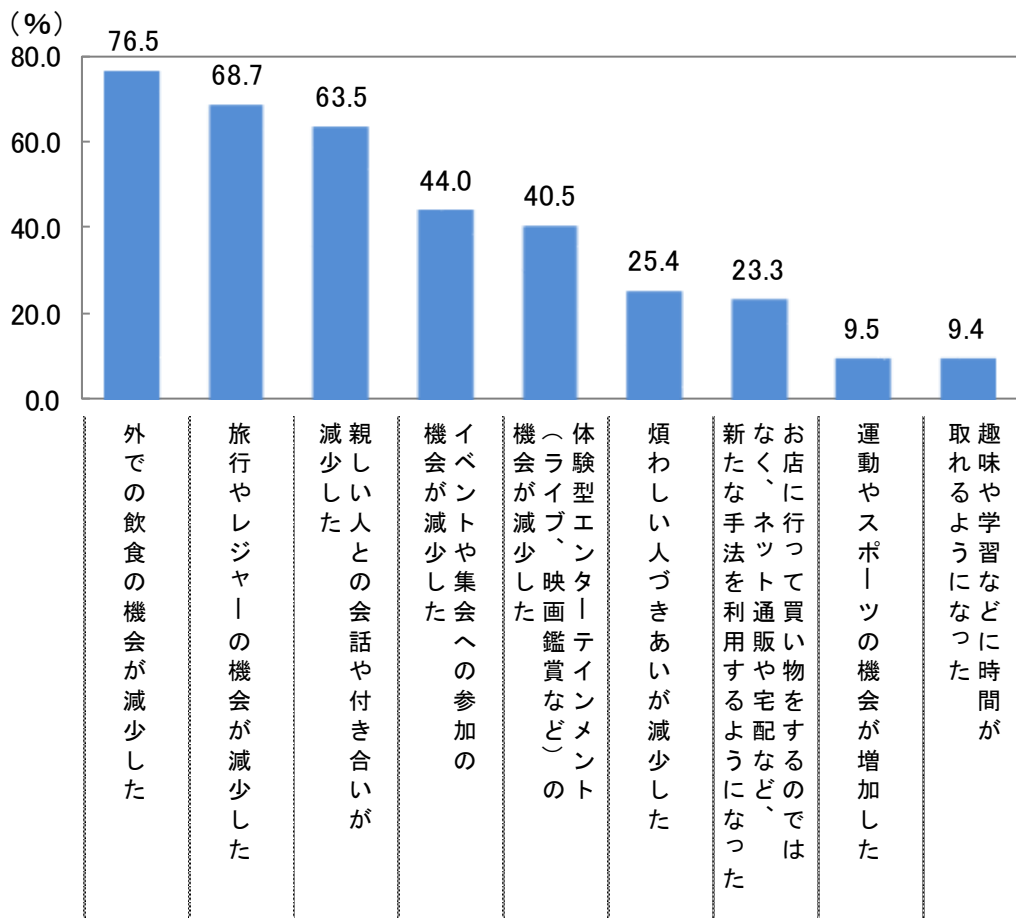


■ は4地域中で最も高い値の地域

③ 余暇、趣味など日々の暮らしへの影響

県全体では、「外での飲食の機会が減少した」（76.5%）が最も高く、次いで、「旅行やレジャーの機会が減少した」（68.7%）、「親しい人との会話や付き合いが減少した」（63.5%）の順となっています。

余暇、趣味など日々の暮らしへの影響



地域別	外での飲食の機会が減少した	旅行やレジャーの機会が減少した	親しい人との会話や付き合いが減少した	イベントや集会への参加の機会が減少した	体験型エンターテインメント（ライブ、映画鑑賞など）の機会が減少した	煩わしい人づきあいが減少した	お店に行つて買い物をするのではなく、ネット通販や宅配など、新たな手法を利用するようになった	運動やスポーツの機会が増加した	趣味や学習などに時間が取れるようになった
北九州地域	75.7	70.2	63.0	40.4	37.7	24.5	25.5	10.2	9.6
福岡地域	78.0	69.2	64.6	46.2	43.6	25.9	23.8	9.6	9.4
筑豊地域	70.7	62.3	61.6	41.2	36.1	23.0	19.2	7.0	9.1
筑後地域	75.6	68.2	61.5	43.2	36.1	26.2	20.1	9.4	9.0

■ は4地域中で最も高い値の地域

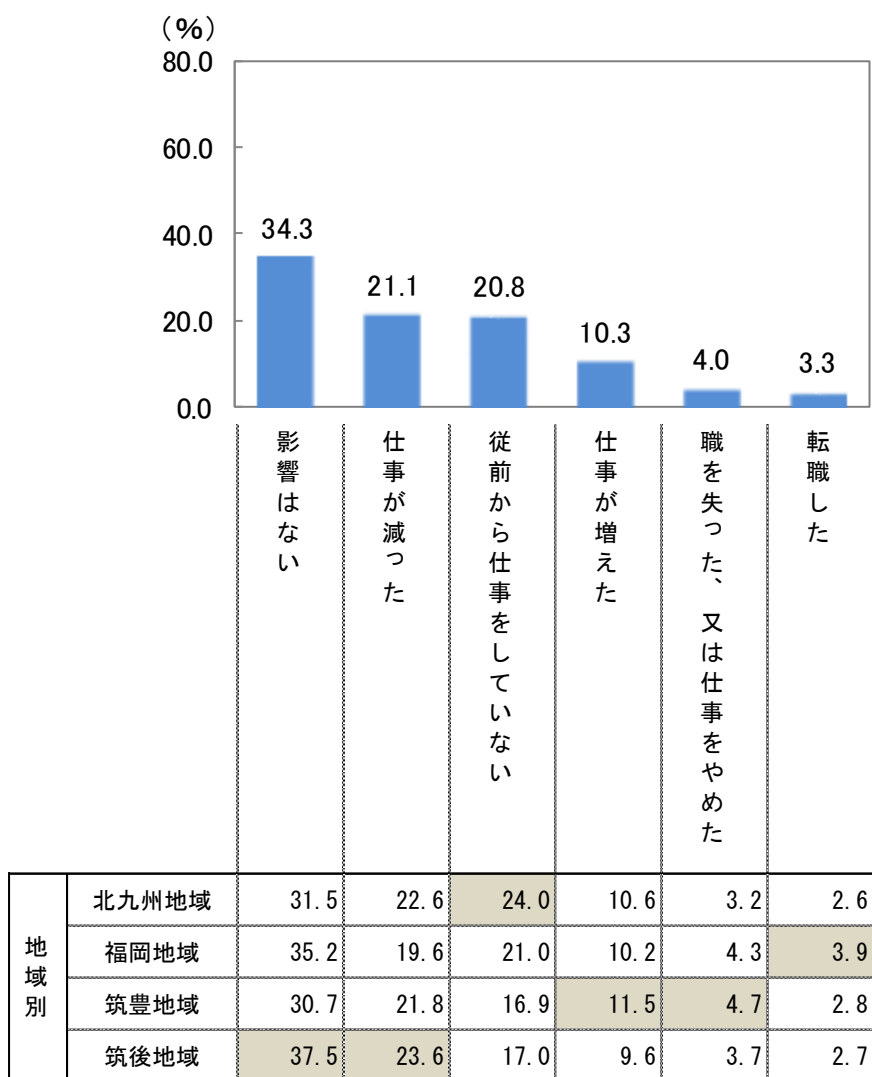
(2) 仕事の変化

① 仕事への影響

県全体では、「影響はない」(34.3%)が最も高く、次いで、「仕事が減った」(21.1%)、「従前から仕事をしていない」(20.8%)の順となっています。

地域別にみると、どの地域でも「影響はない」が最も高いものの、「仕事が減った」が2割前後となっています。

仕事への影響



■ は4地域中で最も高い値の地域

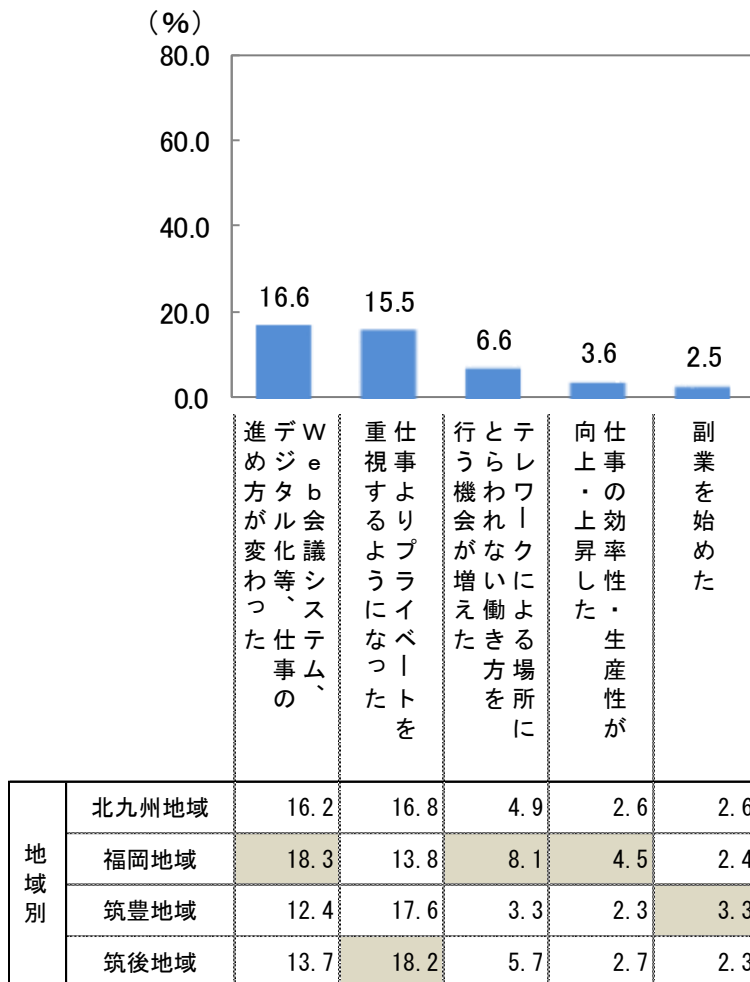
② 働き方への影響

県全体では、「Web 会議システム、デジタル化等、仕事の進め方が変わった」（16.6%）が最も高く、次いで、「仕事よりプライベートを重視するようになった」（15.5%）、「テレワークによる場所にとられない働き方を行う機会が増えた」（6.6%）の順となっています。

また、無回答が 39.6%であり、働き方への影響がない方も多いと考えられます。

地域別にみると、北九州地域、福岡地域では「Web 会議システム、デジタル化等、仕事の進め方が変わった」が他地域と比較して高くなっています。

働き方への影響



■ は 4 地域中で最も高い値の地域

2. 県の施策について

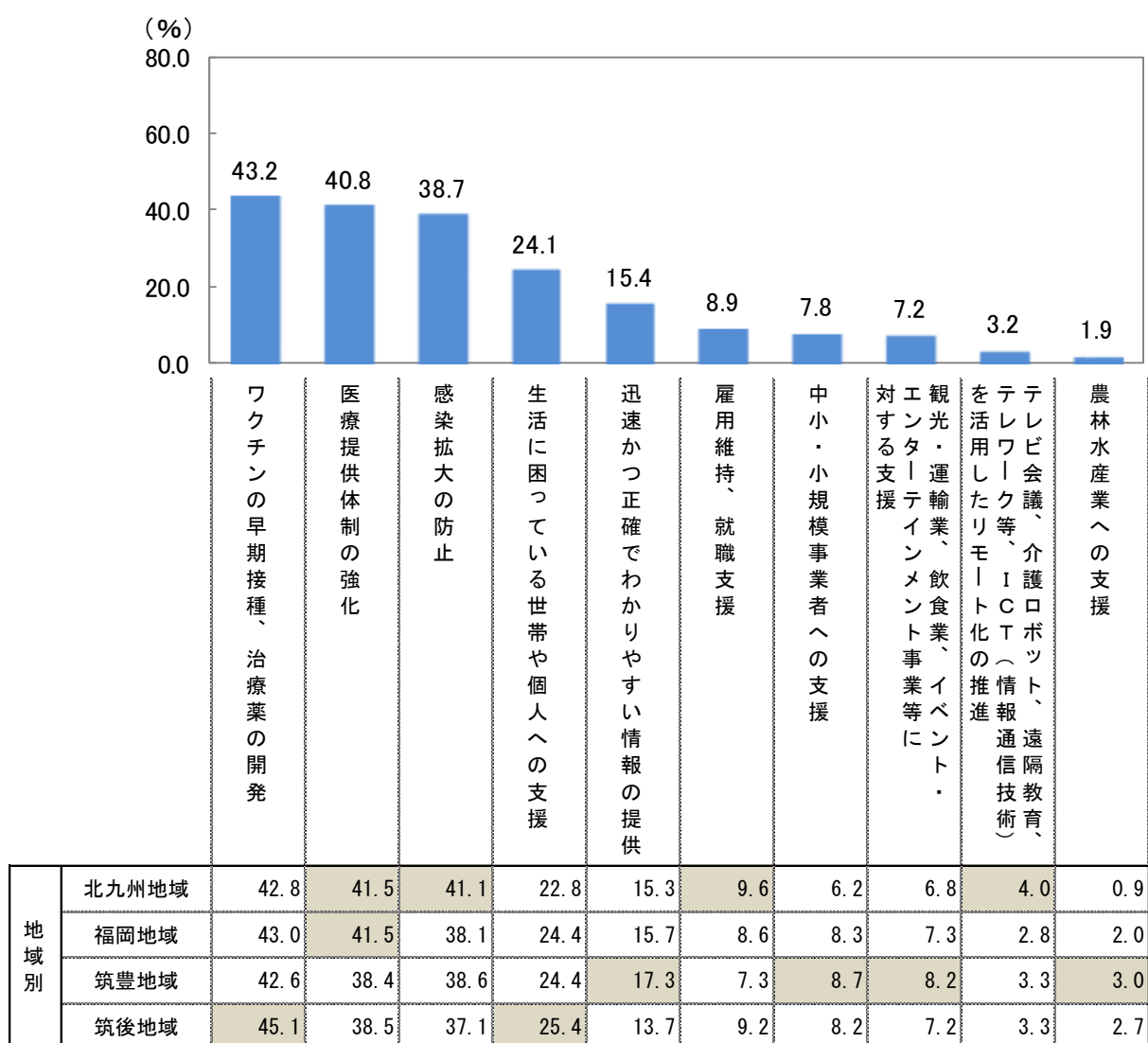
☆ 県政の各分野において、行政に対して力を入れてほしいこと ☆

(1) 新型コロナウイルス感染症対策

県全体では「ワクチンの早期接種、治療薬の開発」(43.2%)が最も高く、次いで、「医療提供体制の強化」(40.8%)、「感染拡大の防止」(38.7%)、の順となっています。

地域別にみると、北九州地域、福岡地域では「医療提供体制の強化」が他地域と比較して高くなっています。

新型コロナウイルス感染症対策

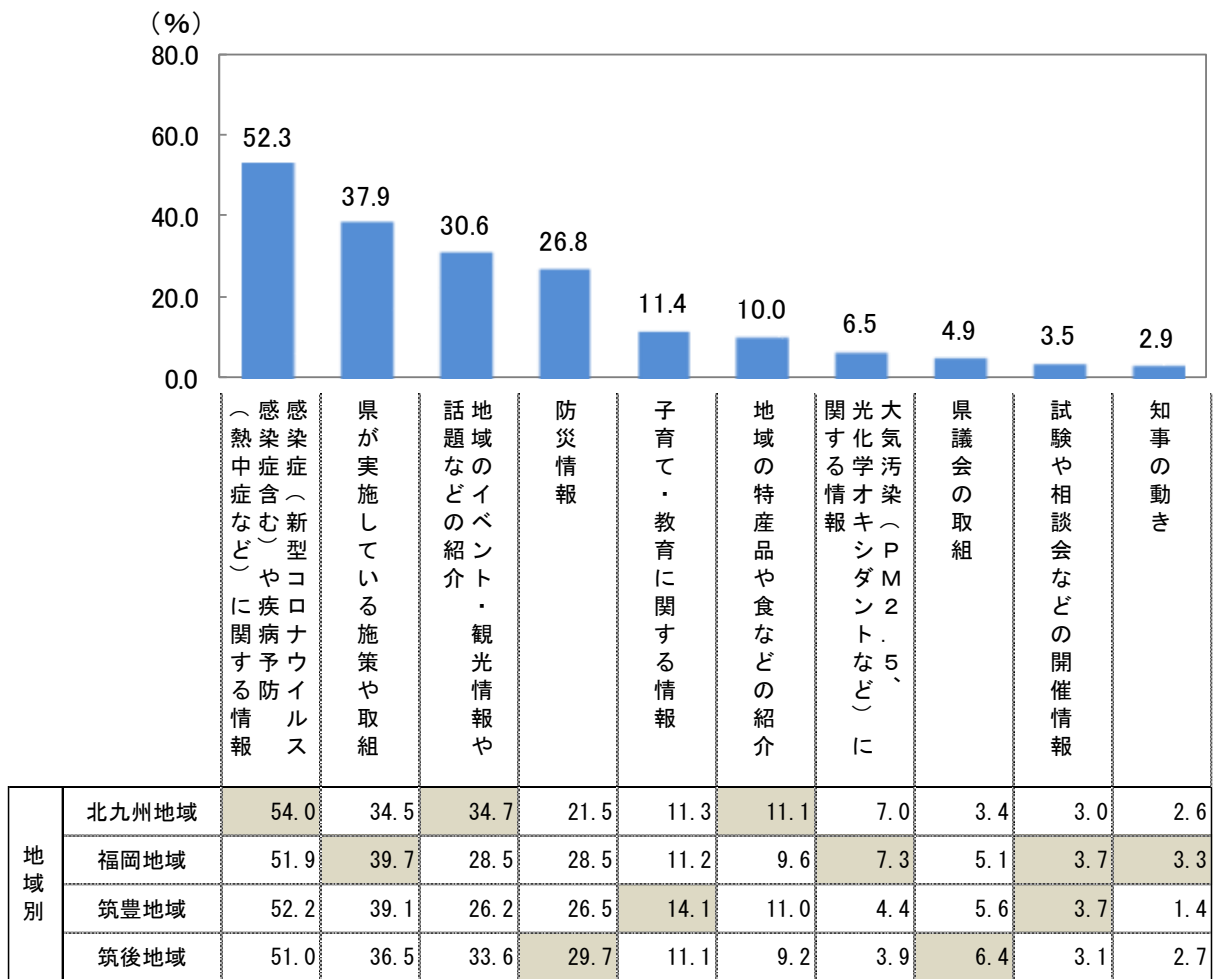


■ は4地域中で最も高い値の地域

(2) 県の広報

県から発信してほしい情報について、県全体では「感染症（新型コロナウイルス感染症含む）や疾病予防（熱中症など）に関する情報」（52.3%）が最も高く、次いで、「県が実施している施策や取組」（37.9%）、「地域のイベント・観光情報や話題などの紹介」（30.6%）、「防災情報」（26.8%）の順となっています。

県の広報



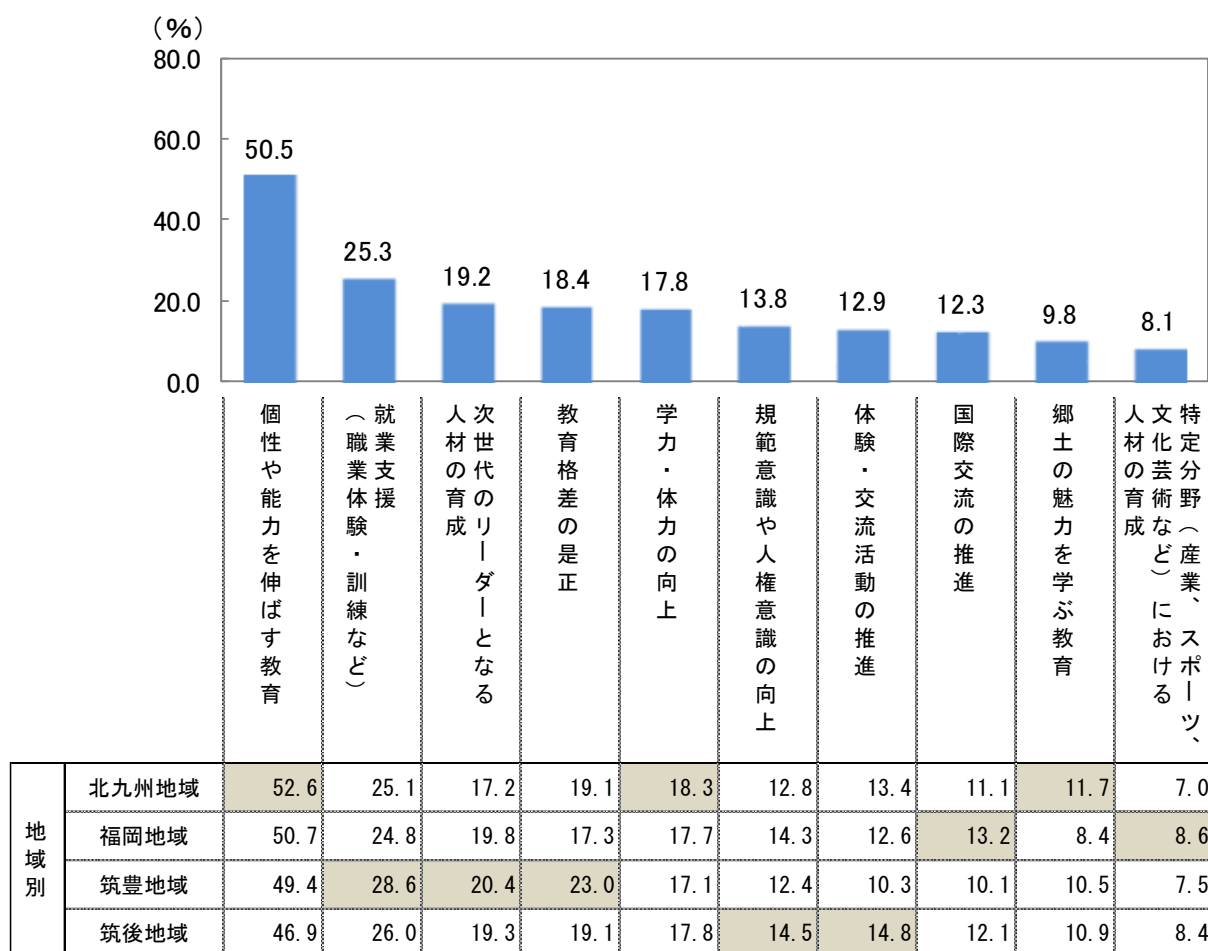
■ は4地域中で最も高い値の地域

(3) 次代を担う「人財」の育成

県全体では「個性や能力を伸ばす教育」(50.5%)が最も高く、次いで、「就業支援(職業体験・訓練など)」(25.3%)、「次世代のリーダーとなる人材の育成」(19.2%)、「教育格差の是正」(18.4%)の順となっています。

地域別にみると、筑豊地域では「就業支援(職業体験・訓練など)」、「教育格差の是正」が他地域と比較して高くなっています。

次代を担う「人財」の育成



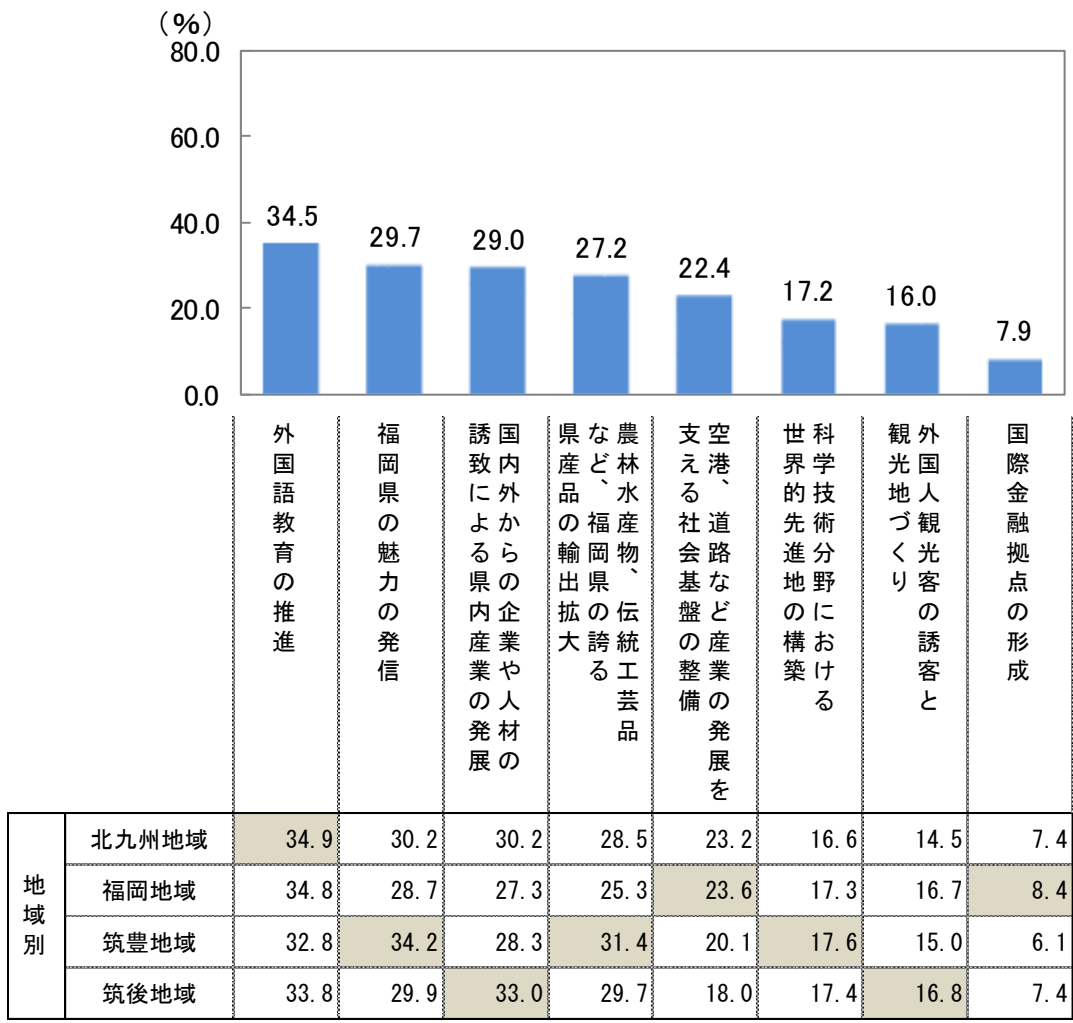
は4地域中で最も高い値の地域

(4) 「世界から選ばれる福岡県」の実現

県全体では「外国語教育の推進」(34.5%)が最も高く、次いで、「福岡県の魅力の発信」(29.7%)、「国内外からの企業や人材の誘致による県内産業の発展」(29.0%)、「農林水産物、伝統工芸品など、福岡県の誇る県産品の輸出拡大」(27.2%)の順となっています。

地域別にみると、筑豊地域では「福岡県の魅力の発信」が他地域と比較して高くなっています。

「世界から選ばれる福岡県」の実現



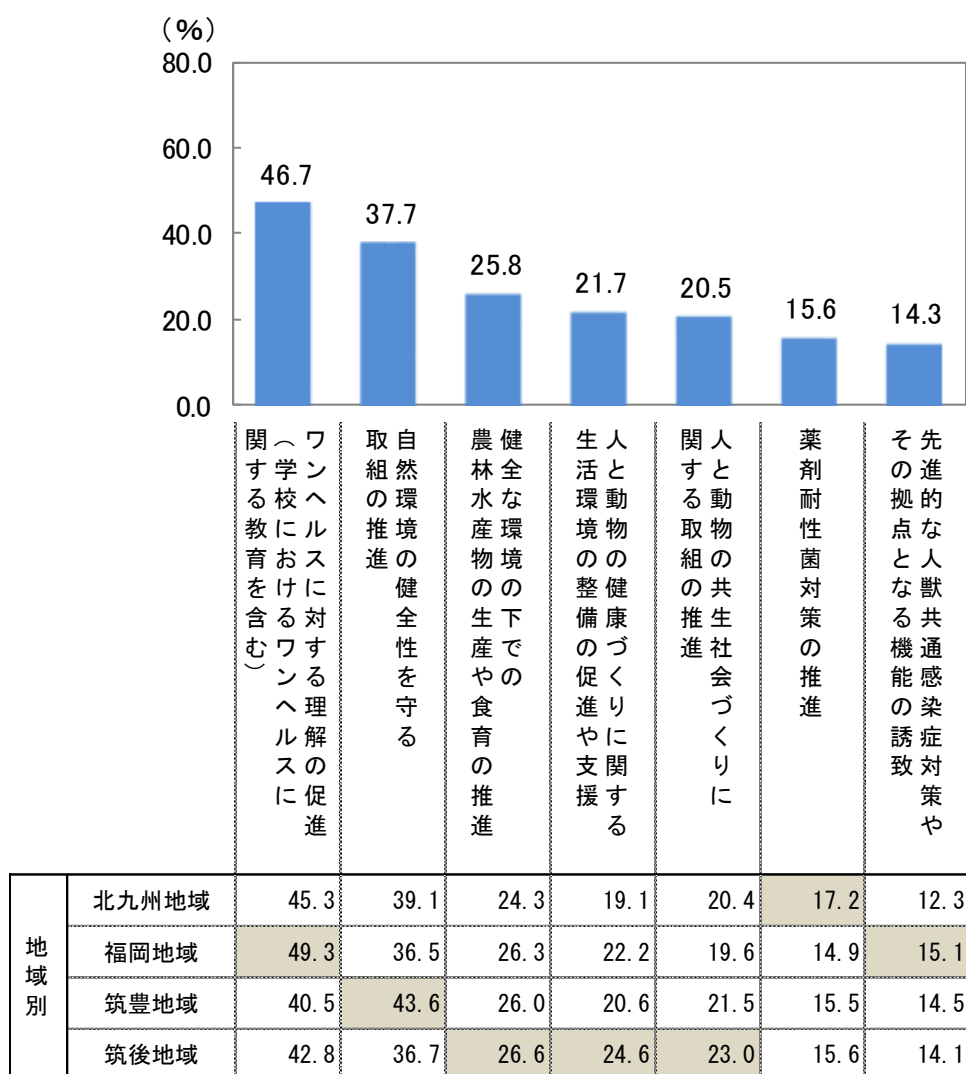
■ は4地域中で最も高い値の地域

(5) ワンヘルスの推進

県全体では「ワンヘルスに対する理解の促進（学校におけるワンヘルスに関する教育を含む）」（46.7%）が最も高く、次いで、「自然環境の健全性を守る取組の推進」（37.7%）、「健全な環境の下での農林水産物の生産や食育の推進」（25.8%）の順となっています。

地域別にみると、どの地域でも「ワンヘルスに対する理解の促進（学校におけるワンヘルスに関する教育を含む）」が高く、筑豊地域では「自然環境の健全性を守る取組の推進」が他地域と比較して高くなっています。

ワンヘルスの推進



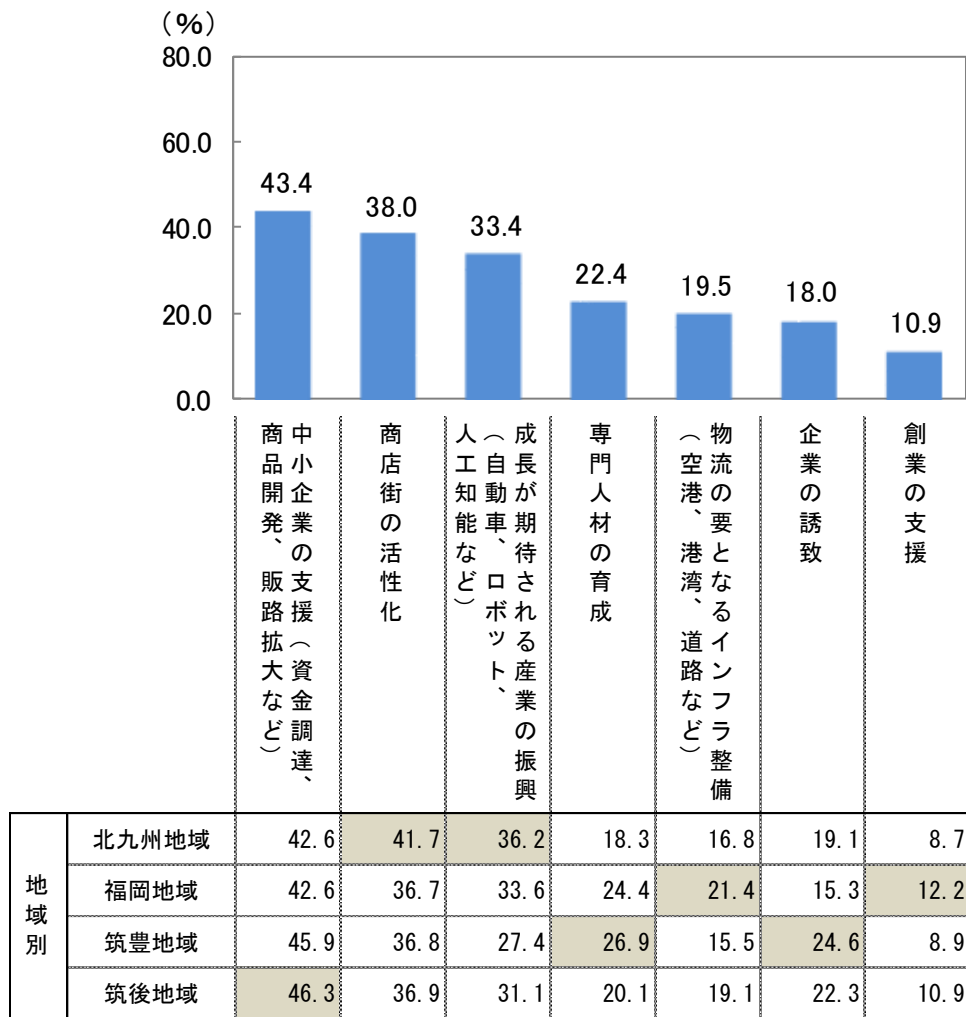
■ は4地域中で最も高い値の地域

(6) 商工業

県全体では「中小企業の支援（資金調達、商品開発、販路拡大など）」（43.4%）が最も高く、次いで、「商店街の活性化」（38.0%）、「成長が期待される産業の振興（自動車、ロボット、人工知能など）」（33.4%）、の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「商店街の活性化」が他地域と比較して高くなっています。

商工業



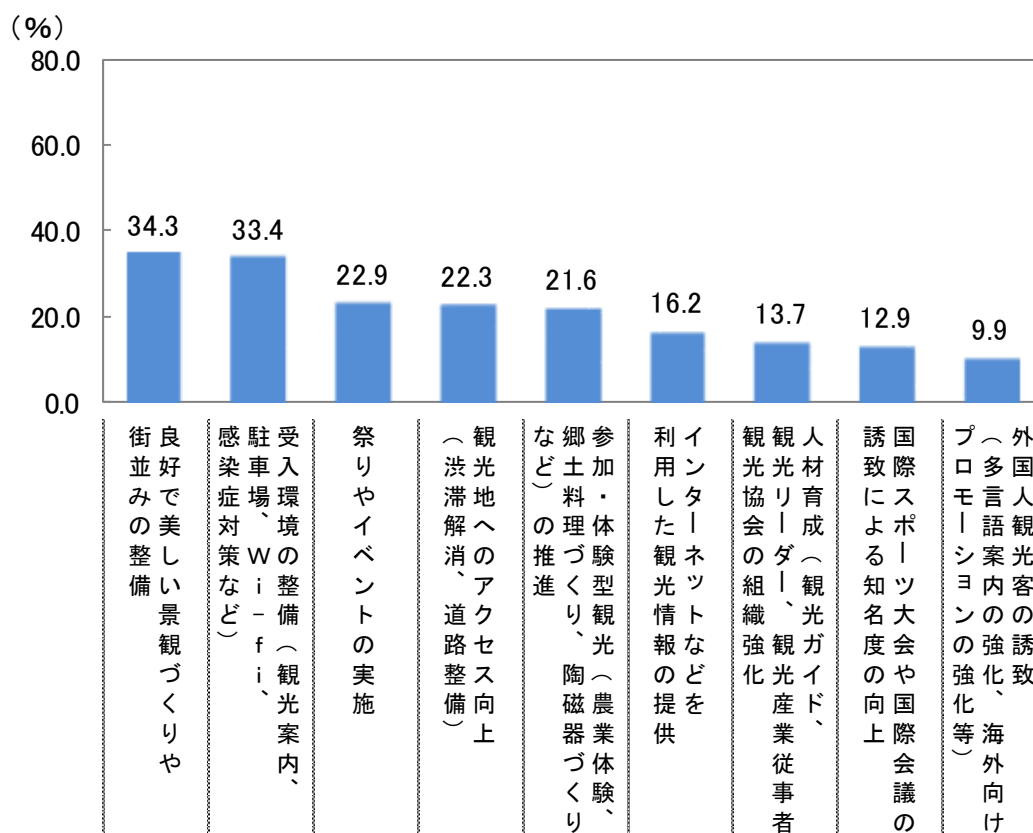
■ は4地域中で最も高い値の地域

(7) 観光

県全体では「良好で美しい景観づくりや街並みの整備」(34.3%)が最も高く、次いで、「受入環境の整備(観光案内、駐車場、Wi-fi、感染症対策など)」(33.4%)、「祭りやイベントの実施」(22.9%)、「観光地へのアクセス向上(渋滞解消、道路整備)」(22.3%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域、筑豊地域では「祭りやイベントの実施」、福岡地域では「観光地へのアクセス向上(渋滞解消、道路整備)」が他地域と比較して高くなっています。

観光



地域別	街並みで美しい景観づくりや	受入環境の整備(観光案内、駐車場、Wi-fi、感染症対策など)	祭りやイベントの実施	観光地へのアクセス向上(渋滞解消、道路整備)	参加・体験型観光(農業体験、郷土料理づくり、陶磁器づくりなど)の推進	インターネットなどを利用した観光情報の提供	観光協会の組織強化	国際スポーツ大会や国際会議の誘致による知名度の向上	外国人観光客の誘致(多言語案内の強化、海外向けプロモーションの強化等)
北九州地域	31.5	32.1	24.5	18.3	23.8	15.3	15.1	15.3	9.4
福岡地域	36.0	33.8	22.4	25.0	20.6	15.7	12.4	12.6	9.8
筑豊地域	31.6	34.9	24.1	23.7	20.8	15.7	14.1	12.9	8.0
筑後地域	34.4	33.4	21.3	18.6	22.1	19.7	16.0	10.2	12.1

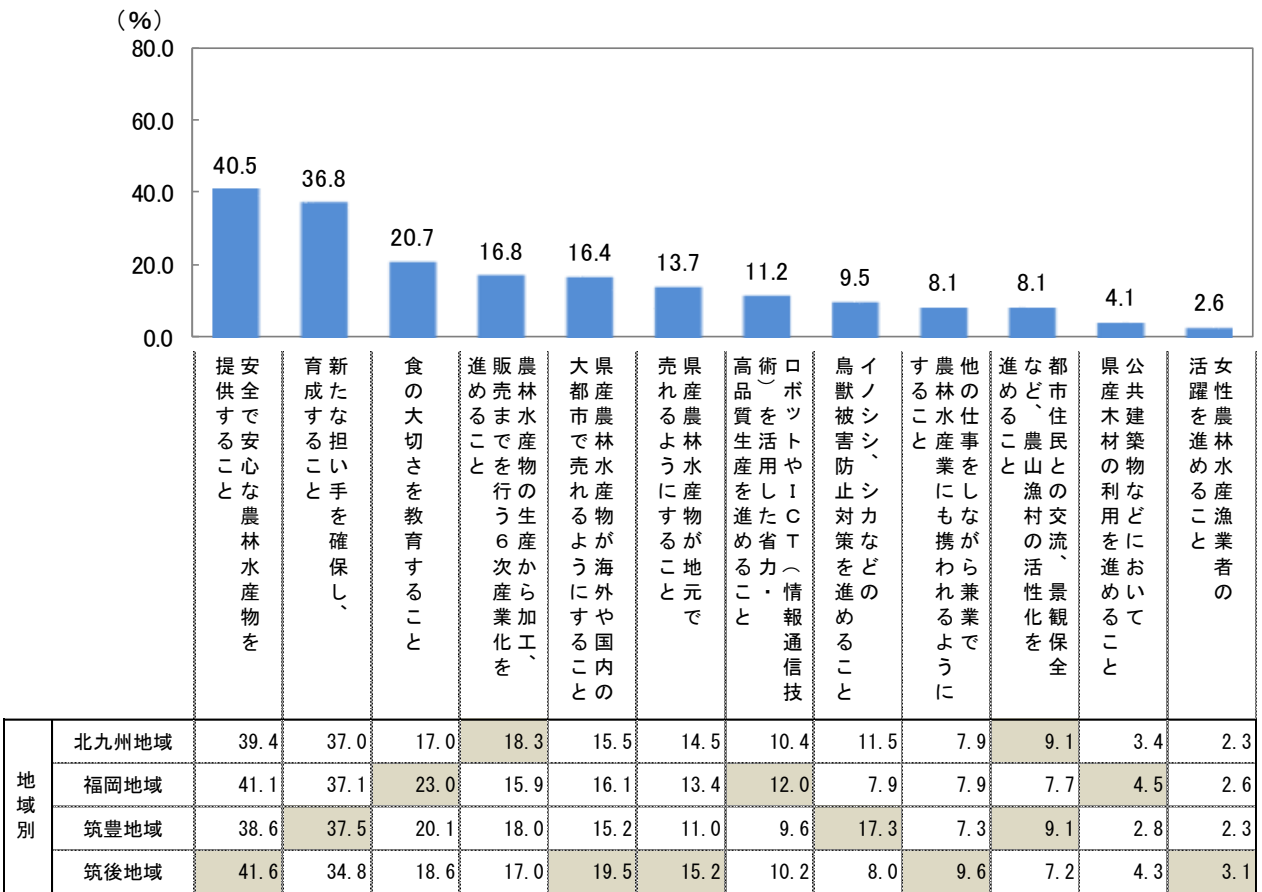
■は4地域中で最も高い値の地域

(8) 農林水産業

県全体では「安全で安心な農林水産物を提供すること」(40.5%)が最も高く、次いで、「新たな担い手を確保し、育成すること」(36.8%)、「食の大切さを教育すること」(20.7%)の順となっています。

地域別にみると、筑豊地域では「イノシシ、シカなどの鳥獣被害防止対策を進めること」、筑後地域では「県産農林水産物が海外や国内の大都市で売れるようにすること」が他地域と比較して高くなっています。

農林水産業



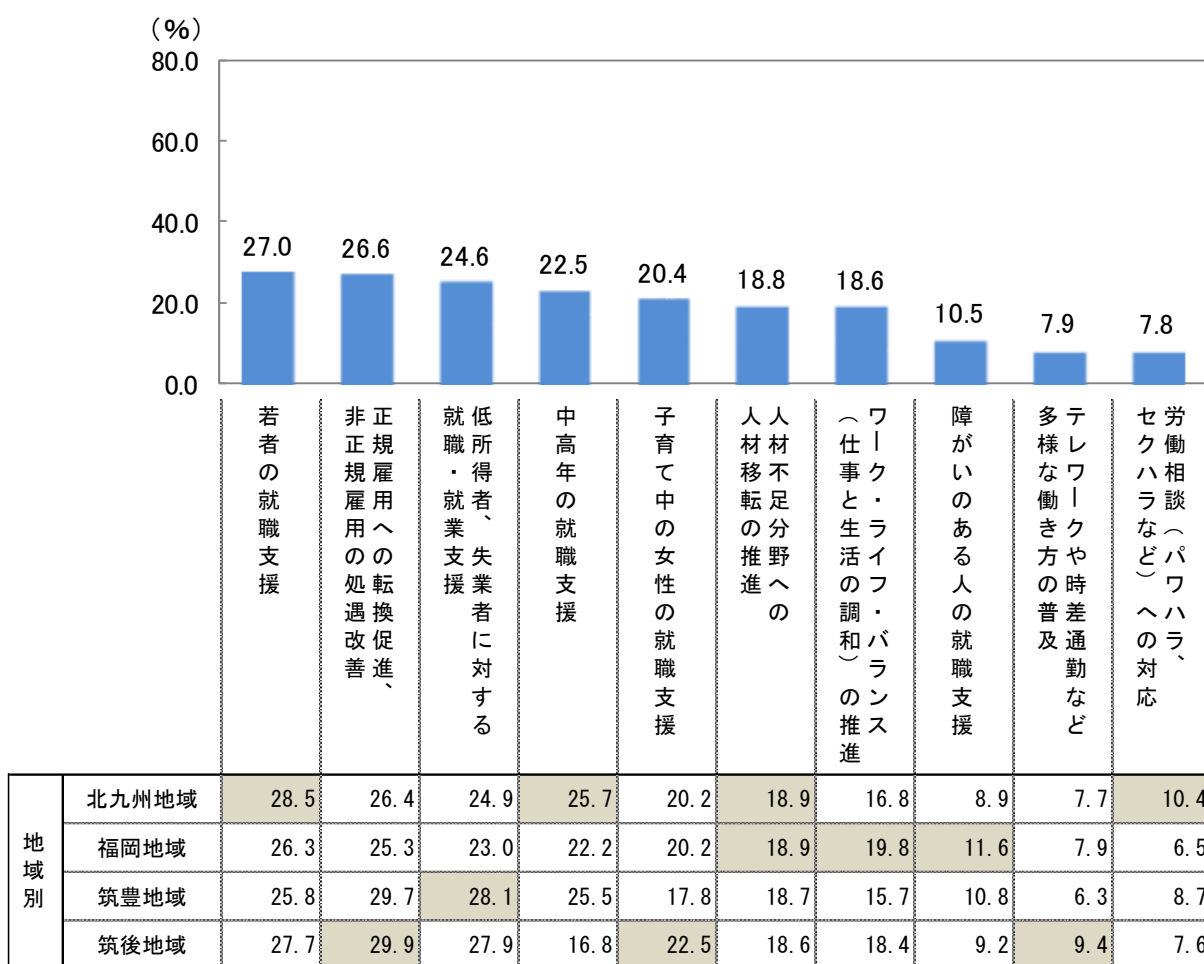
■ は4地域中で最も高い値の地域

(9) 雇用、働き方

県全体では「若者の就職支援」(27.0%)が最も高く、次いで、「正規雇用への転換促進、非正規雇用の処遇改善」(26.6%)、「低所得者、失業者に対する就職・就業支援」(24.6%)、中高年の就職支援(22.5%)の順となっています。

地域別にみると、福岡地域では「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進」、筑豊地域、筑後地域では「正規雇用への転換促進、非正規雇用の処遇改善」、「低所得者、失業者に対する就職・就業支援」が他地域と比較して高くなっています。

雇用、働き方



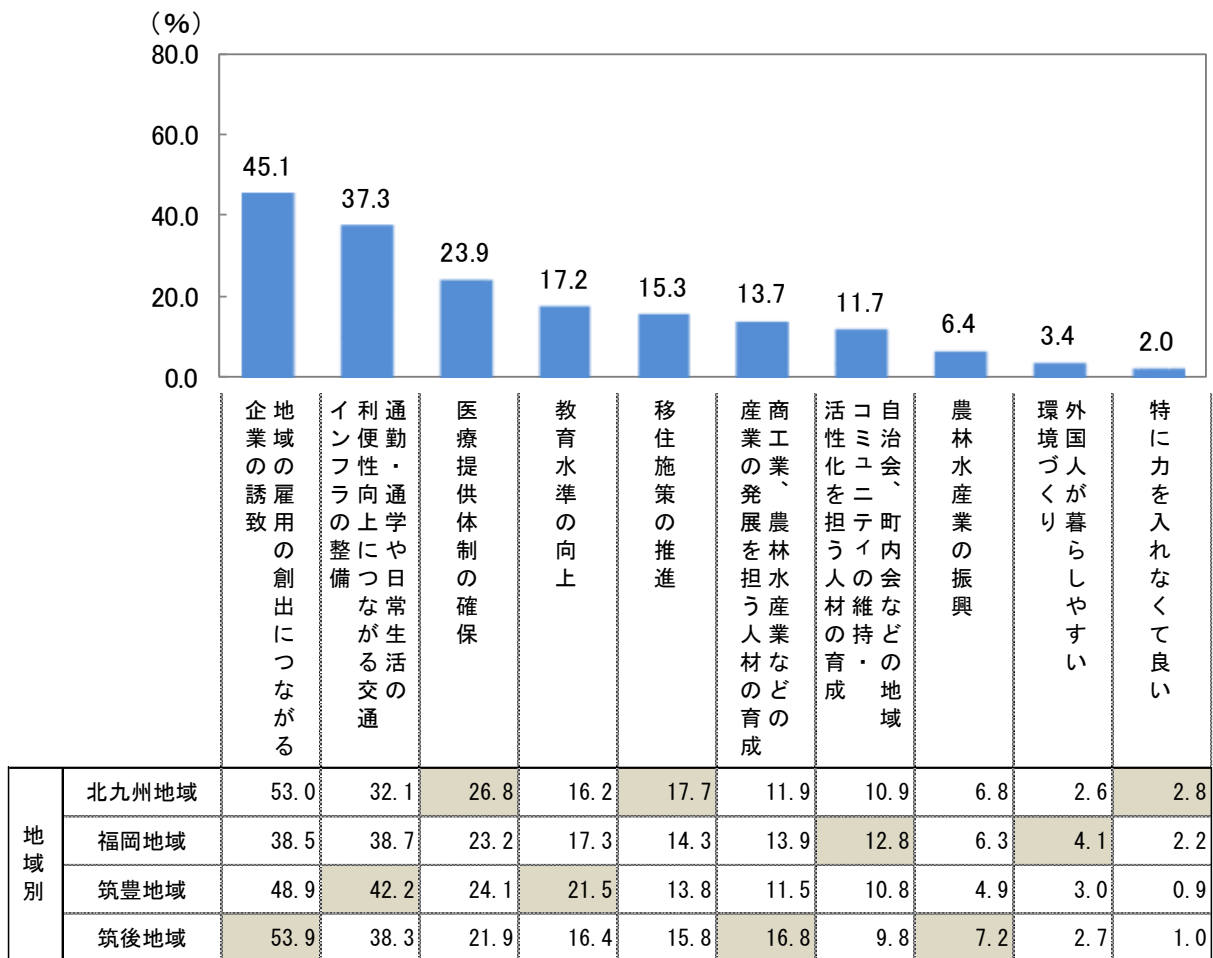
■ は4地域中で最も高い値の地域

(10) 地域振興

県全体では「地域の雇用の創出につながる企業の誘致」(45.1%)が最も高く、次いで、「通勤・通学や日常生活の利便性向上につながる交通インフラの整備」(37.3%)、「医療提供体制の確保」(23.9%)の順となっています。

地域別にみると、筑豊地域では「通勤・通学や日常生活の利便性向上につながる交通インフラの整備」が他地域と比較して高くなっています。

地域振興



■ は4地域中で最も高い値の地域

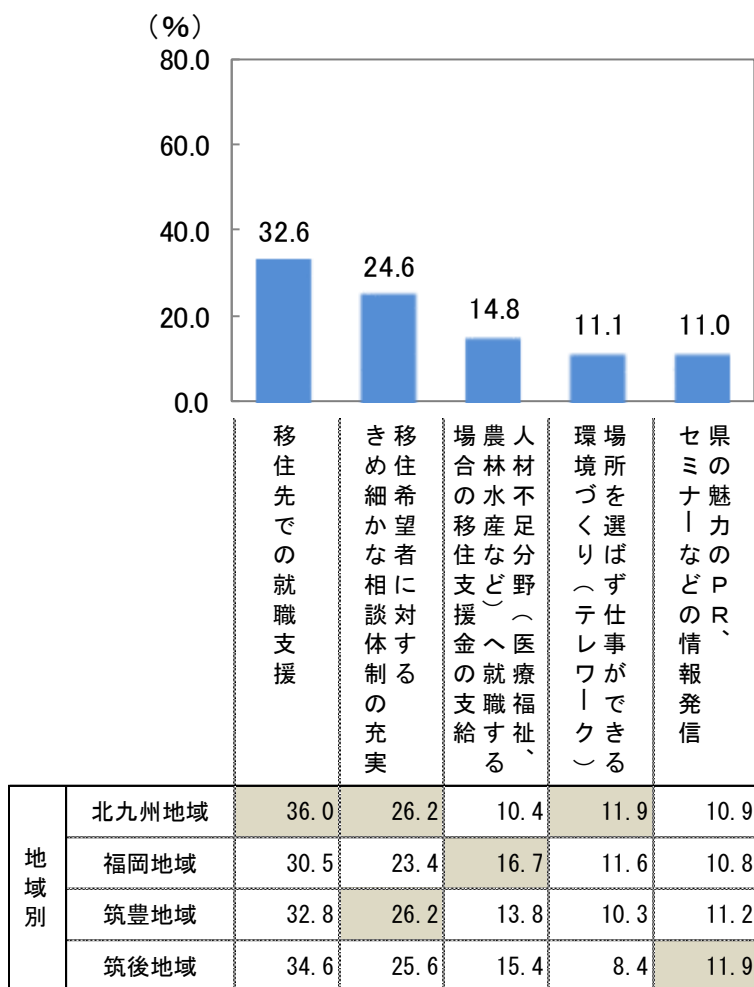
(11) 移住・定住、企業誘致

① 移住・定住

県全体では「移住先での就職支援」(32.6%)が最も高く、次いで、「移住希望者に対するきめ細かな相談体制の充実」(24.6%)、「人材不足分野(医療福祉、農林水産など)へ就職する場合の移住支援金の支給」(14.8%)の順となっています。

地域別にみると、どの地域でも「移住先での就職支援」が最も高くなっています。

移住・定住

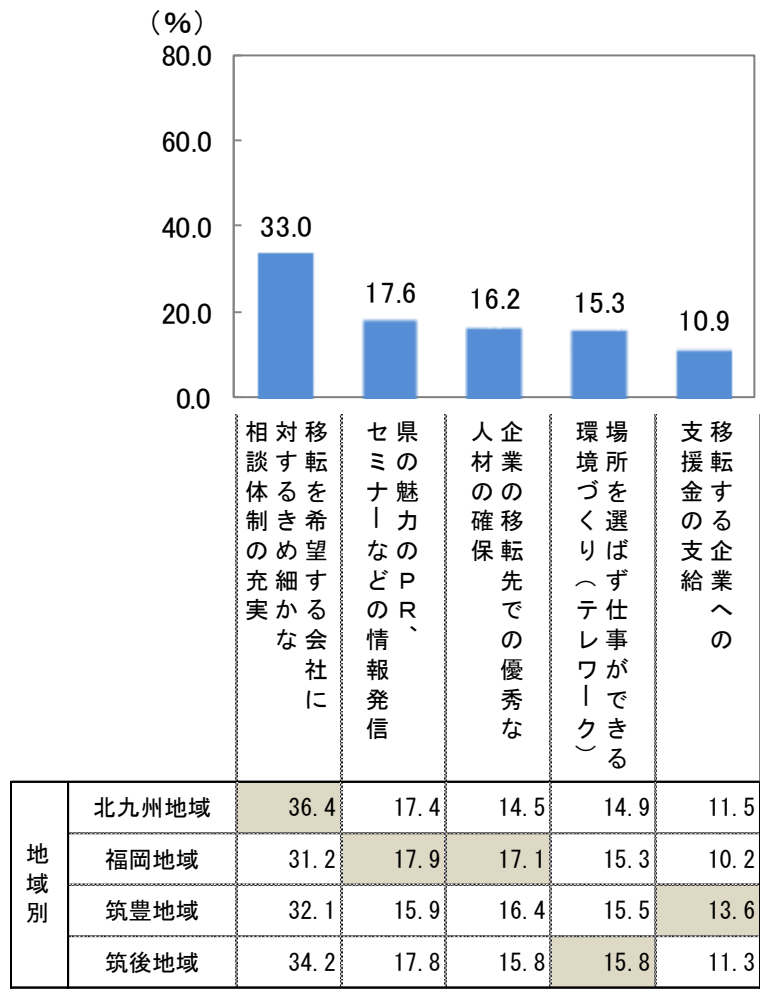


■は4地域中で最も高い値の地域

② 企業誘致

県全体では「移転を希望する会社に対するきめ細かな相談体制の充実」(33.0%)が最も高く、次いで、「県の魅力のPR、セミナーなどの情報発信」(17.6%)、「企業の移転先での優秀な人材の確保」(16.2%)の順となっています。

企業誘致

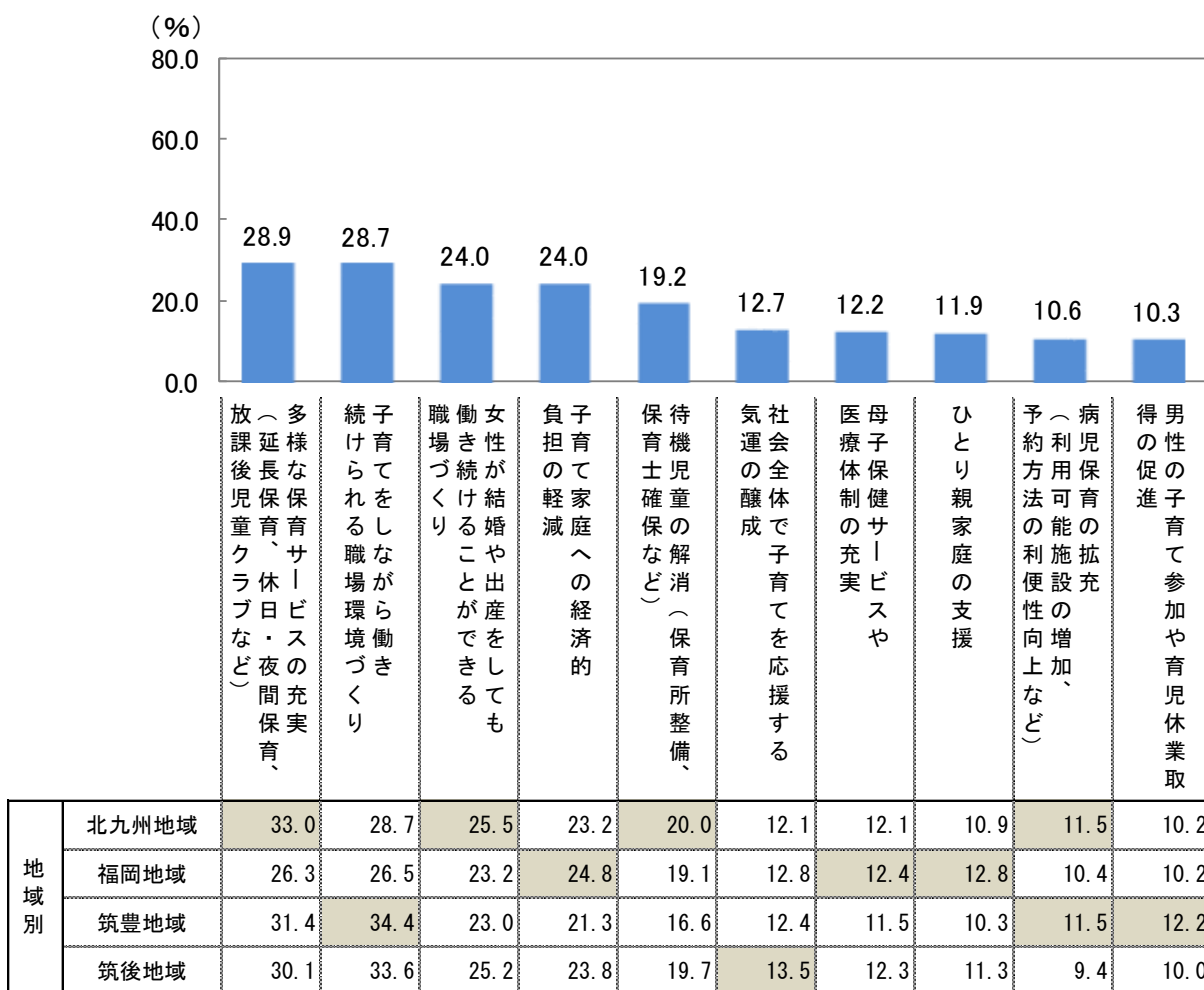


■は4地域中で最も高い値の地域

(12) 子育て支援

県全体では「多様な保育サービスの充実（延長保育、休日・夜間保育、放課後児童クラブなど）」（28.9%）が最も高く、次いで、「子育てをしながら働き続けられる職場環境づくり」（28.7%）、
「女性が結婚や出産をしても働き続けることができる職場づくり」、「子育て家庭への経済的負担の軽減」（ともに 24.0%）の順となっています。

子育て支援



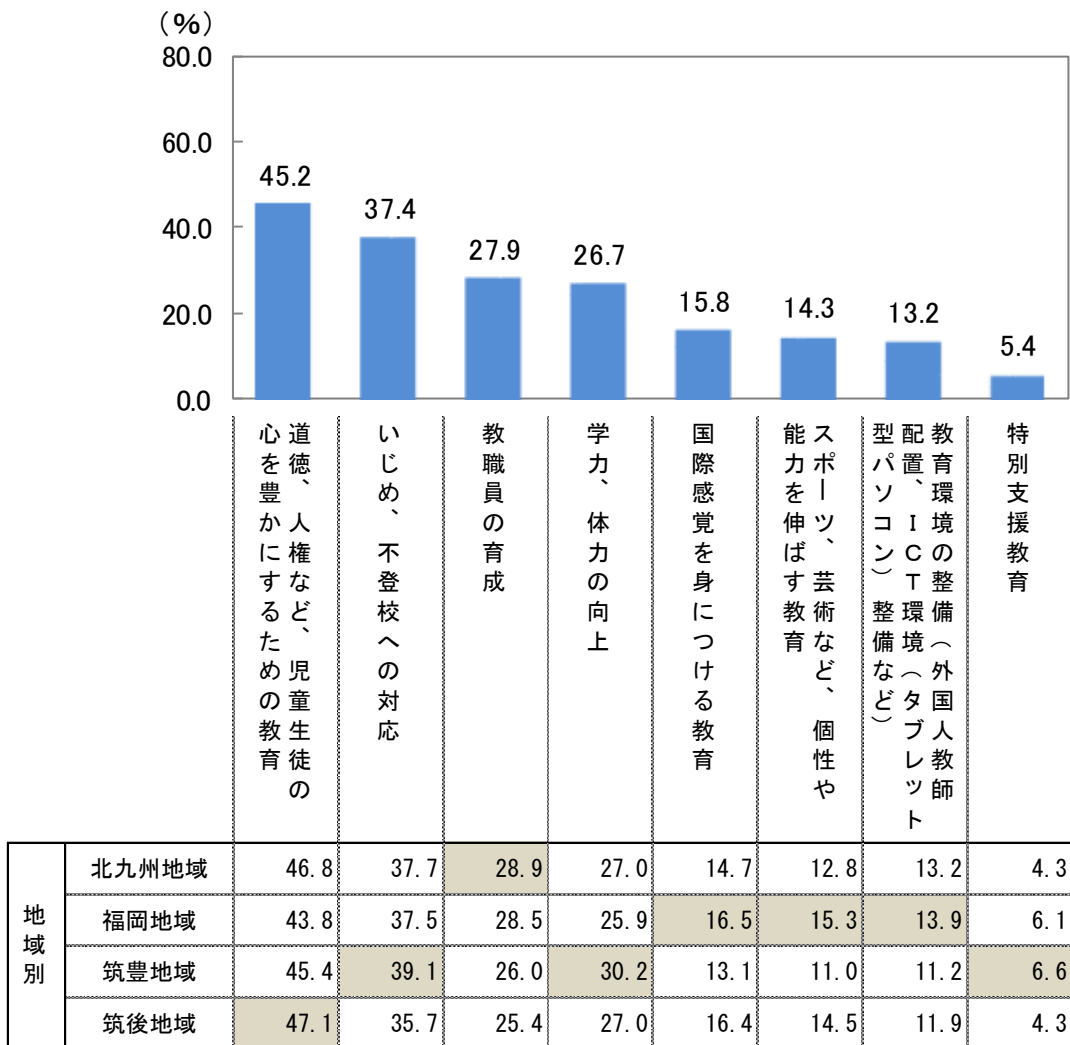
は4地域中で最も高い値の地域

(13) 教育

県全体では「道徳、人権など、児童生徒の心を豊かにするための教育」(45.2%)が最も高く、次いで、「いじめ、不登校への対応」(37.4%)、「教職員の育成」(27.9%)、「学力、体力の向上」(26.7%)の順となっています。

地域別にみると、筑豊地域では「学力、体力の向上」が他地域と比較して高くなっています。

教 育



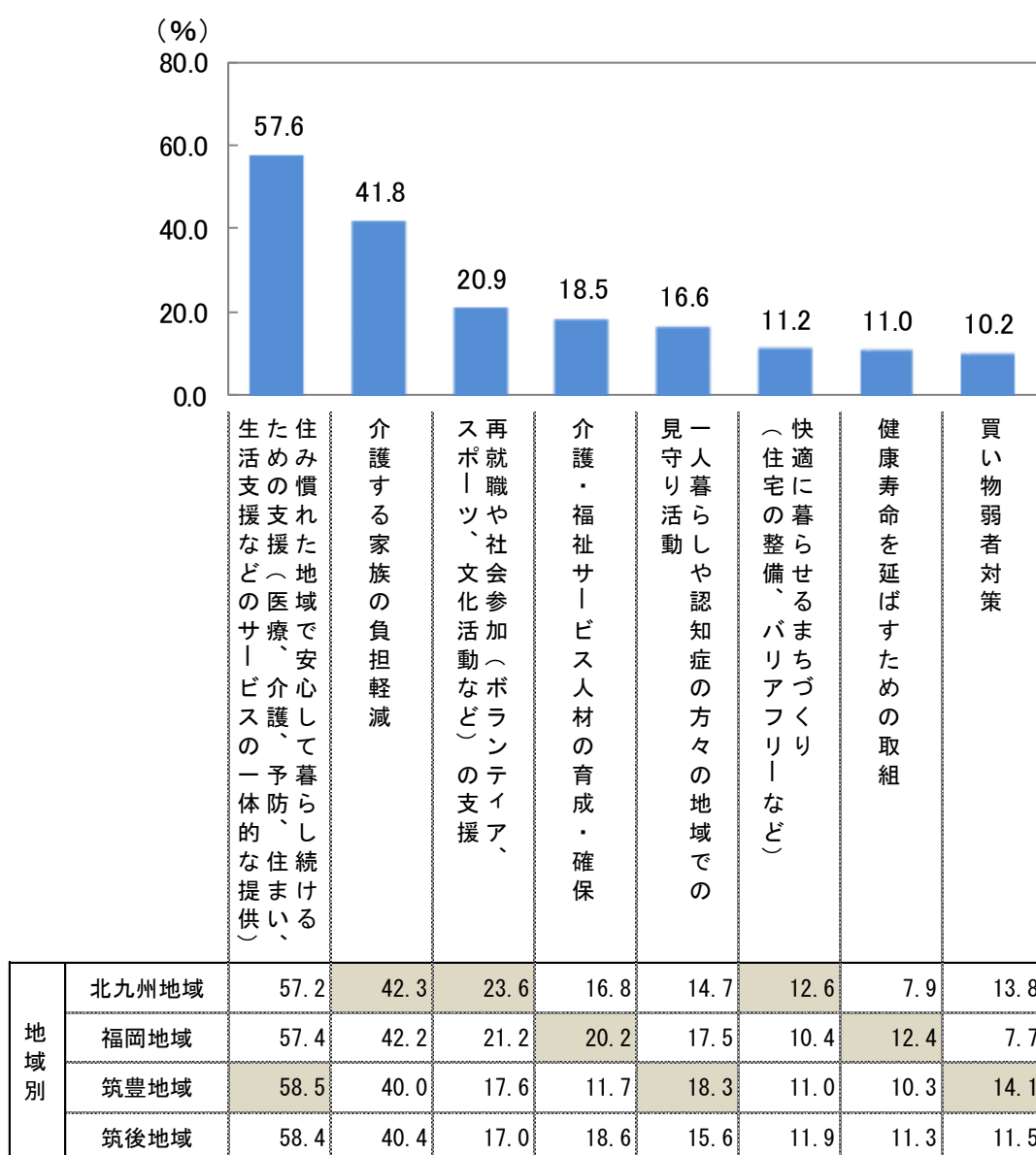
■は4地域中で最も高い値の地域

(14) 高齢者

県全体では「住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための支援（医療、介護、予防、住まい、生活支援などのサービスの一体的な提供）」（57.6%）が最も高く、次いで、「介護する家族の負担軽減」（41.8%）、「再就職や社会参加（ボランティア、スポーツ、文化活動など）の支援」（20.9%）の順となっています。

地域別にみると、北九州地域、福岡地域では「介護する家族の負担軽減」が他地域と比較して高くなっています。

高齢者

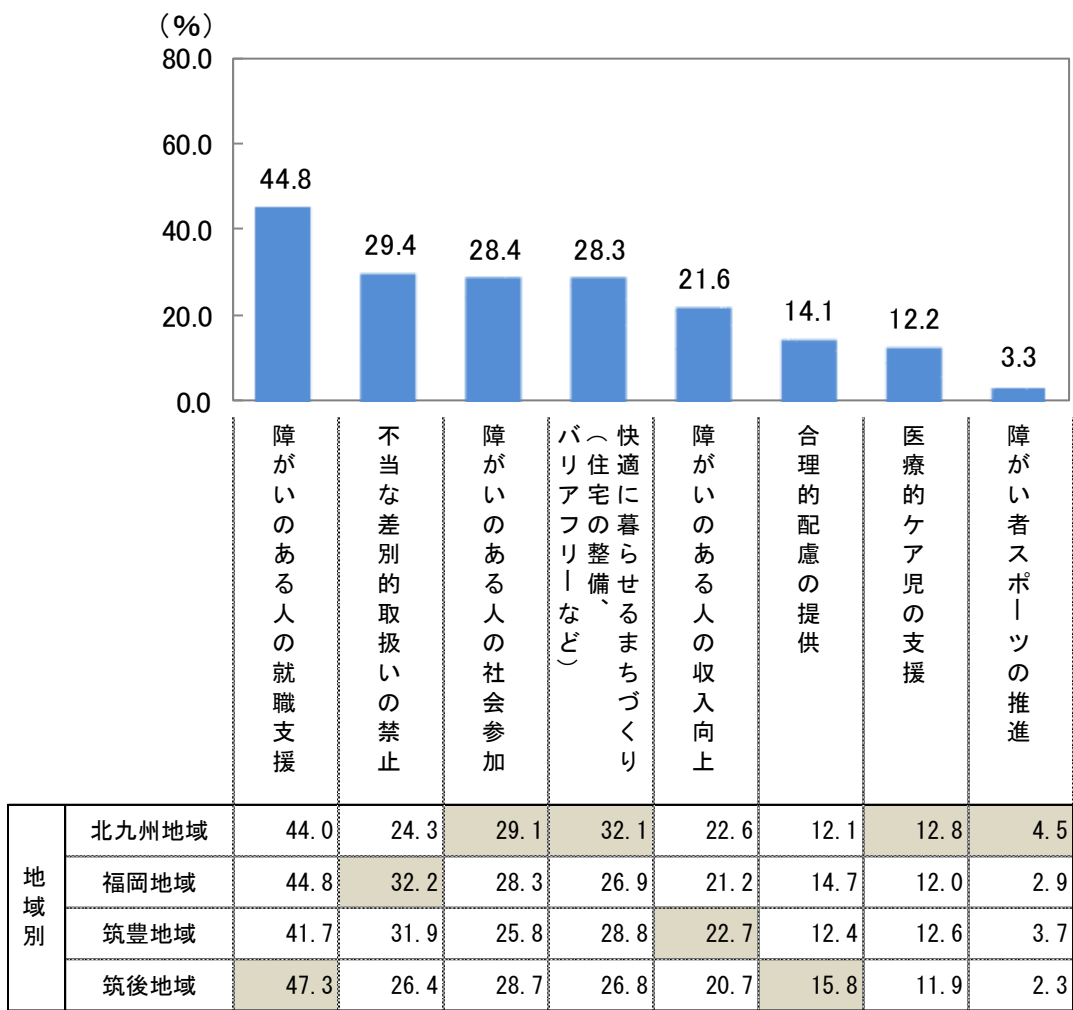


■ は4地域中で最も高い値の地域

(15) 障がいのある人

県全体では「障がいのある人の就職支援」(44.8%)が最も高く、次いで、「不当な差別的取扱いの禁止」(29.4%)、「障がいのある人の社会参加」(28.4%)、「快適に暮らせるまちづくり(住宅の整備、バリアフリーなど)」(28.3%)の順となっています。

障がいのある人

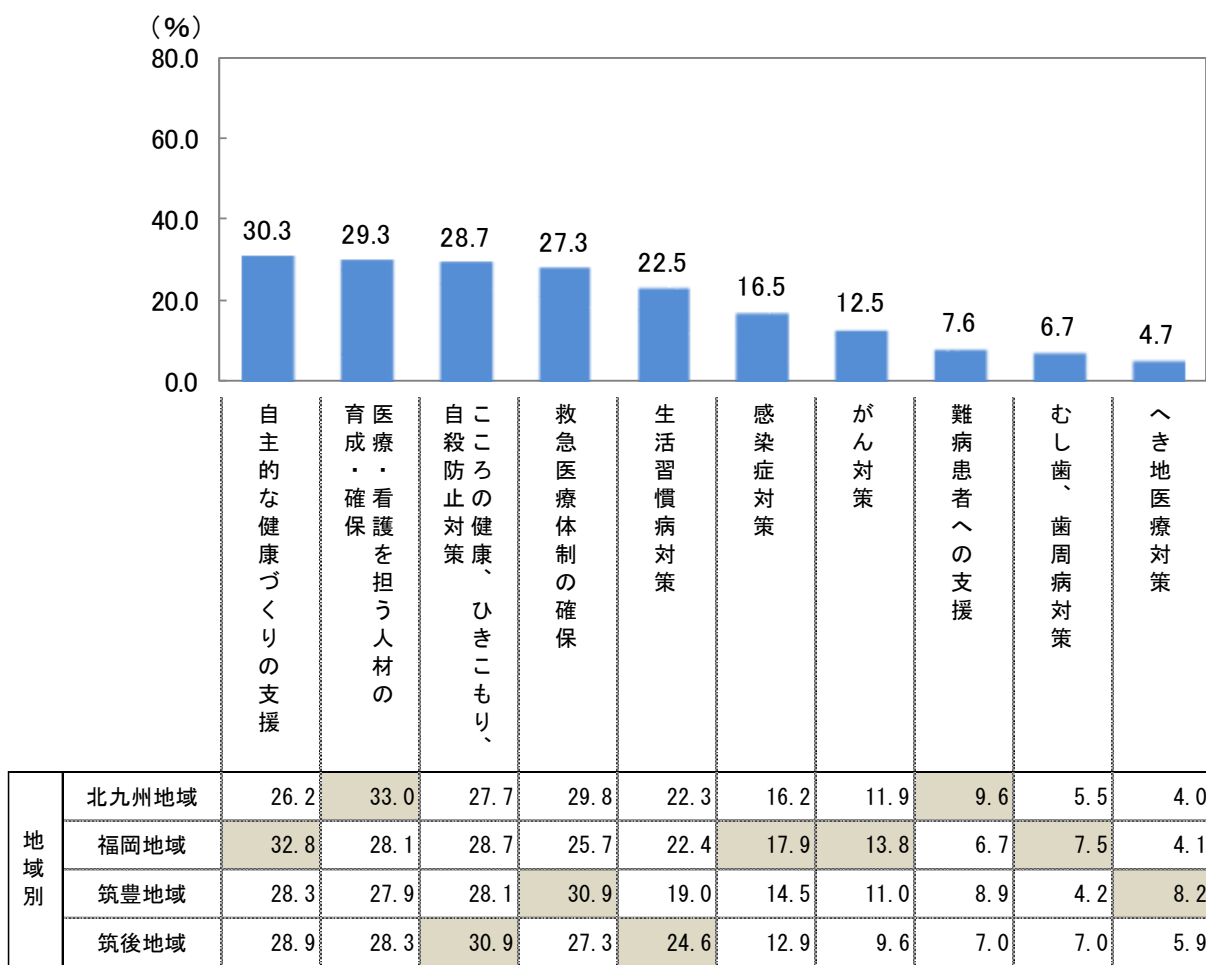


■は4地域中で最も高い値の地域

(16) 保健・医療

県全体では「自主的な健康づくりの支援」(30.3%)が最も高く、次いで、「医療・看護を担う人材の育成・確保」(29.3%)、「こころの健康、ひきこもり、自殺防止対策」(28.7%)、「救急医療体制の確保」(27.3%)の順となっています。

保健・医療

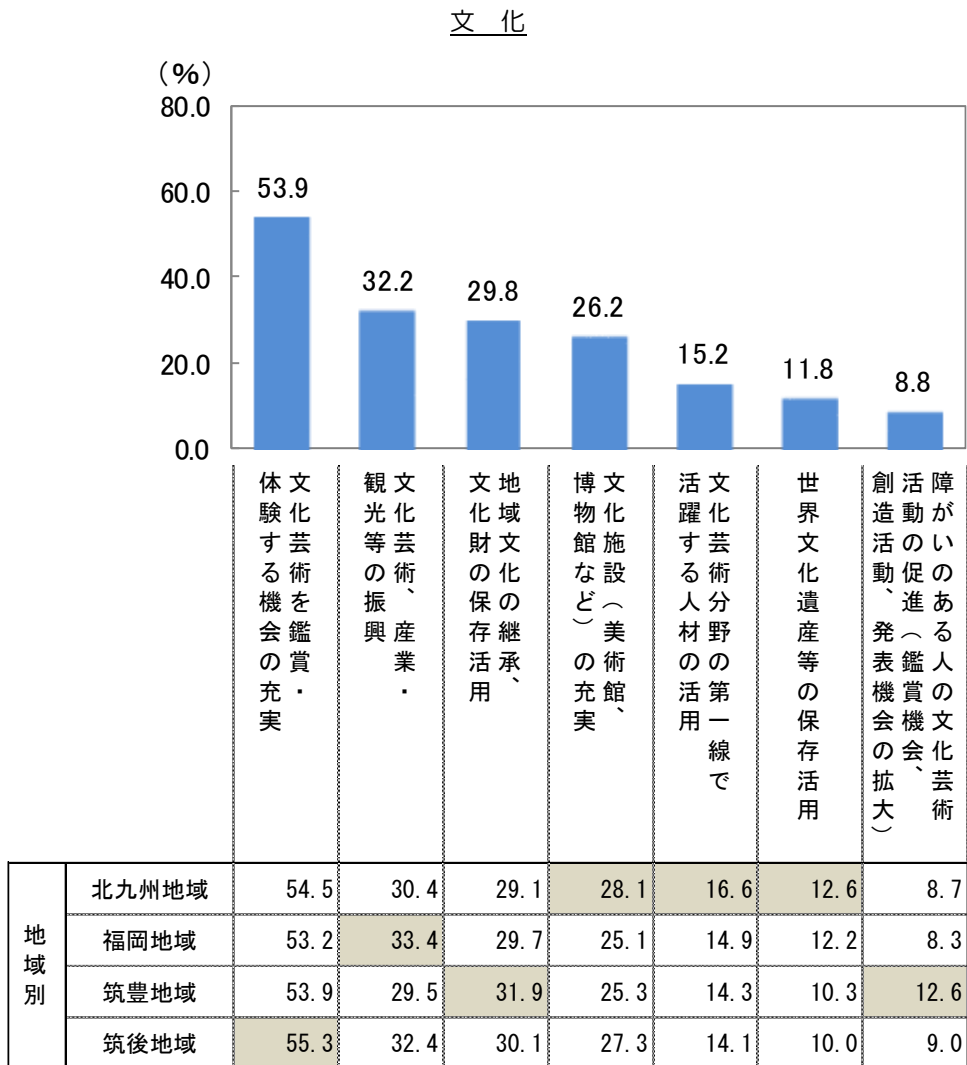


■ は4地域中で最も高い値の地域

(17) 文化

県全体では「文化芸術を鑑賞・体験する機会の充実」(53.9%)が最も高く、次いで、「文化芸術、産業・観光等の振興」(32.2%)、「地域文化の継承、文化財の保存活用」(29.8%)の順となっています。

地域別にみると、どの地域でも「文化芸術を鑑賞・体験する機会の充実」が最も高く、筑豊地域では「地域文化の継承、文化財の保存活用」が他地域と比較して高くなっています。



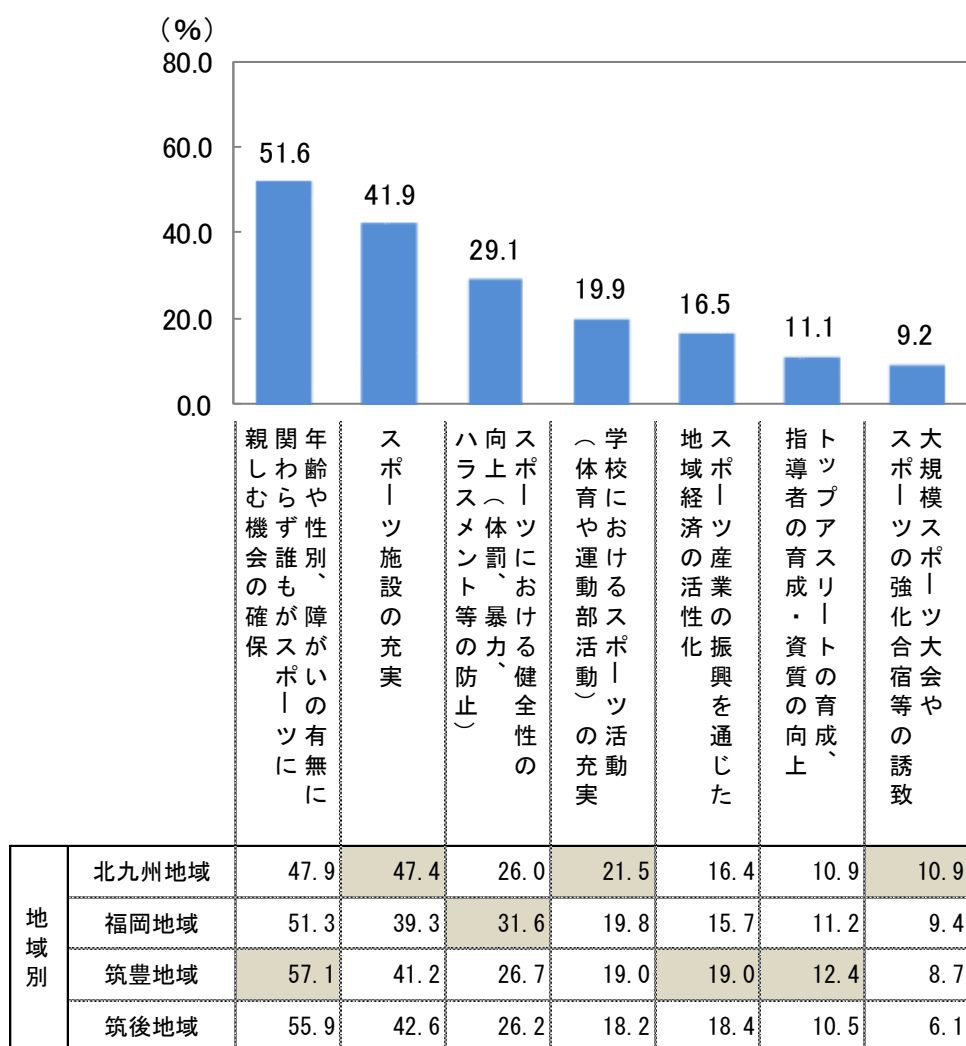
■ は4地域中で最も高い値の地域

(18) スポーツ

県全体では「年齢や性別、障がいの有無に関わらず誰もがスポーツに親しむ機会の確保」(51.6%)が最も高く、次いで、「スポーツ施設の充実」(41.9%)、「スポーツにおける健全性の向上(体罰、暴力、ハラスメント等の防止)」(29.1%)の順となっています。

地域別にみると、どの地域でも「年齢や性別、障がいの有無に関わらず誰もがスポーツに親しむ機会の確保」、「スポーツ施設の充実」が高くなっています。

スポーツ



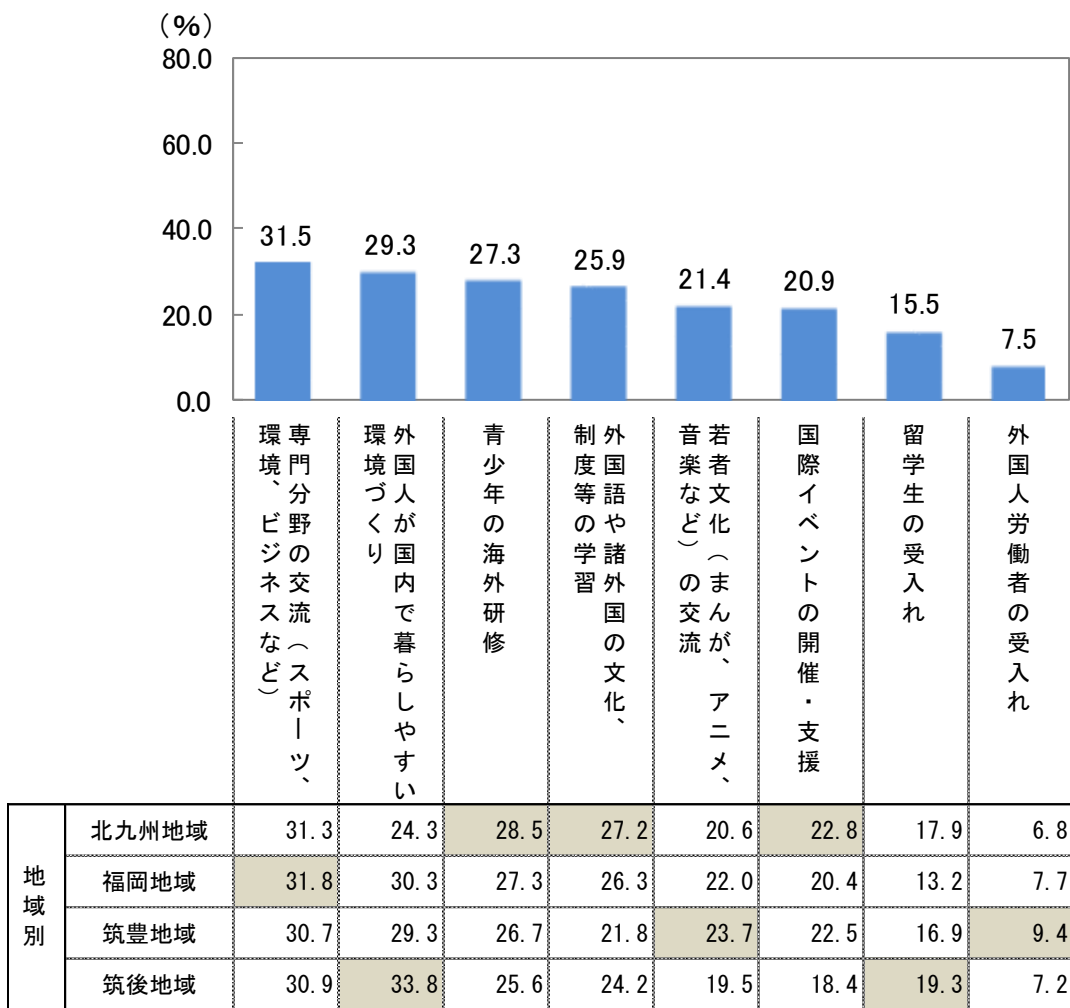
■ は4地域中で最も高い値の地域

(19) 国際交流

県全体では「専門分野の交流（スポーツ、環境、ビジネスなど）」（31.5%）が最も高く、次いで、「外国人が国内で暮らしやすい環境づくり」（29.3%）、「青少年の海外研修」（27.3%）、「外国語や諸外国の文化、制度等の学習」（25.9%）の順となっています。

地域別にみると、筑後地域では「外国人が国内で暮らしやすい環境づくり」が他地域と比較して高くなっています。

国際交流



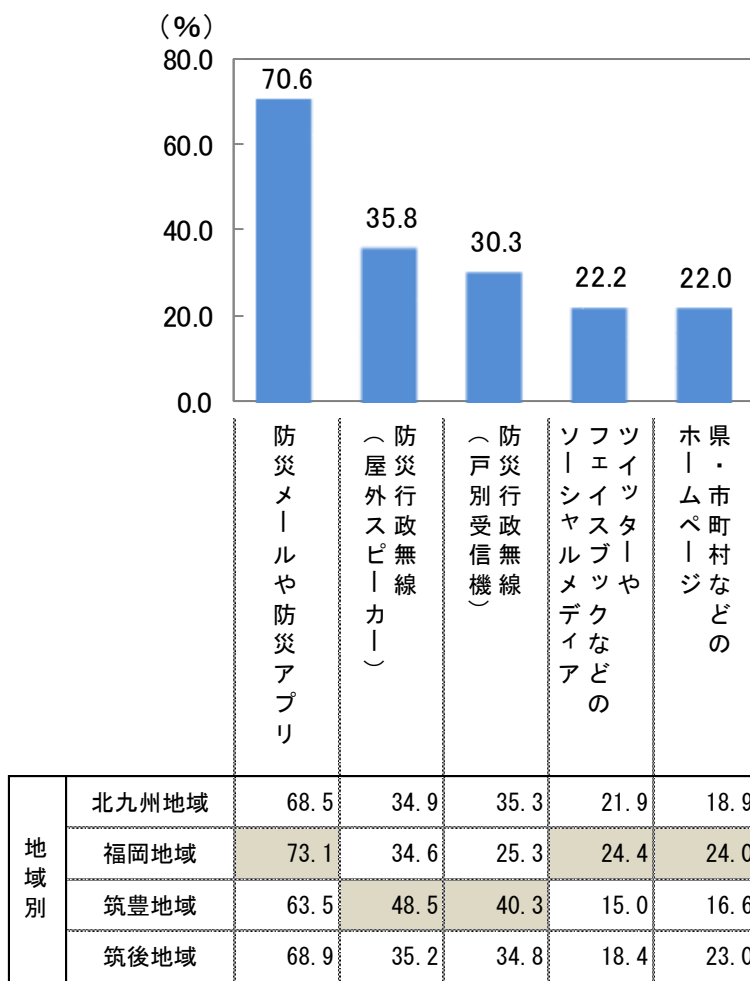
■は4地域中で最も高い値の地域

(20) 防災

災害時に有効だと考える行政からの情報伝達手段について、県全体では「防災メールや防災アプリ」(70.6%)が最も高く、次いで、「防災行政無線(屋外スピーカー)」(35.8%)、「防災行政無線(戸別受信機)」(30.3%)の順となっています。

地域別にみると、どの地域でも「防災メールや防災アプリ」が最も高くなっています。

防 災

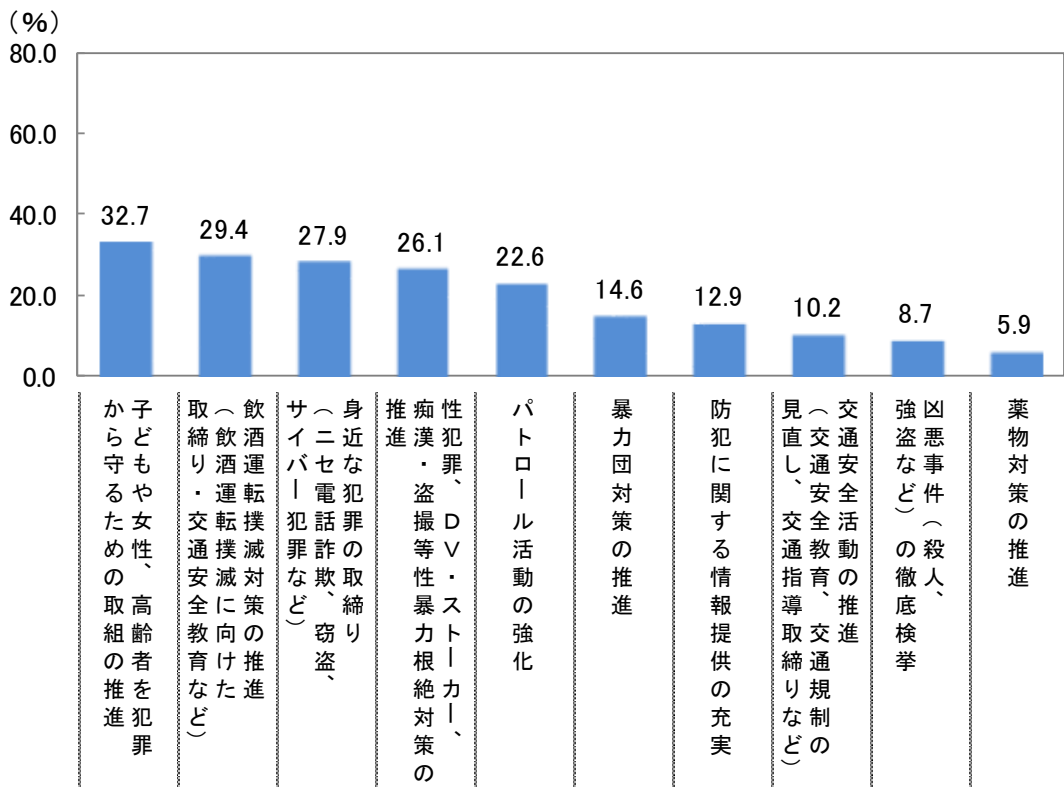


■ は4地域中で最も高い値の地域

(21) 防犯・交通安全

県全体では「子どもや女性、高齢者を犯罪から守るための取組の推進」(32.7%)が最も高く、次いで、「飲酒運転撲滅対策の推進(飲酒運転撲滅に向けた取締り・交通安全教育など)」(29.4%)、「身近な犯罪の取締り(ニセ電話詐欺、窃盗、サイバー犯罪など)」(27.9%)、「性犯罪、DV・ストーカー、痴漢・盗撮等性暴力根絶対策の推進」(26.1%)の順となっています。

防犯・交通安全



地域別	割合 (%)												
	北九州地域	福岡地域	筑豊地域	筑後地域	子どもや女性、高齢者を犯罪から守るための取組の推進	飲酒運転撲滅対策の推進(飲酒運転撲滅に向けた取締り・交通安全教育など)	身近な犯罪の取締り(ニセ電話詐欺、窃盗、サイバー犯罪など)	性犯罪、DV・ストーカー、痴漢・盗撮等性暴力根絶対策の推進	パトロール活動の強化	暴力団対策の推進	防犯に関する情報提供の充実	交通安全活動の推進(交通安全教育、交通規制の見直し、交通指導取締りなど)	凶悪事件(殺人、強盗など)の徹底検挙
北九州地域	33.8	31.9	28.1	24.9	23.0	15.5	11.1	9.6	8.9	5.5			
福岡地域	32.8	27.9	28.3	29.1	20.8	13.6	13.0	10.8	8.4	6.1			
筑豊地域	31.4	30.4	25.5	21.5	26.9	13.6	15.2	9.6	10.5	6.8			
筑後地域	30.9	30.1	27.7	19.9	26.0	17.4	14.8	9.2	8.6	5.1			

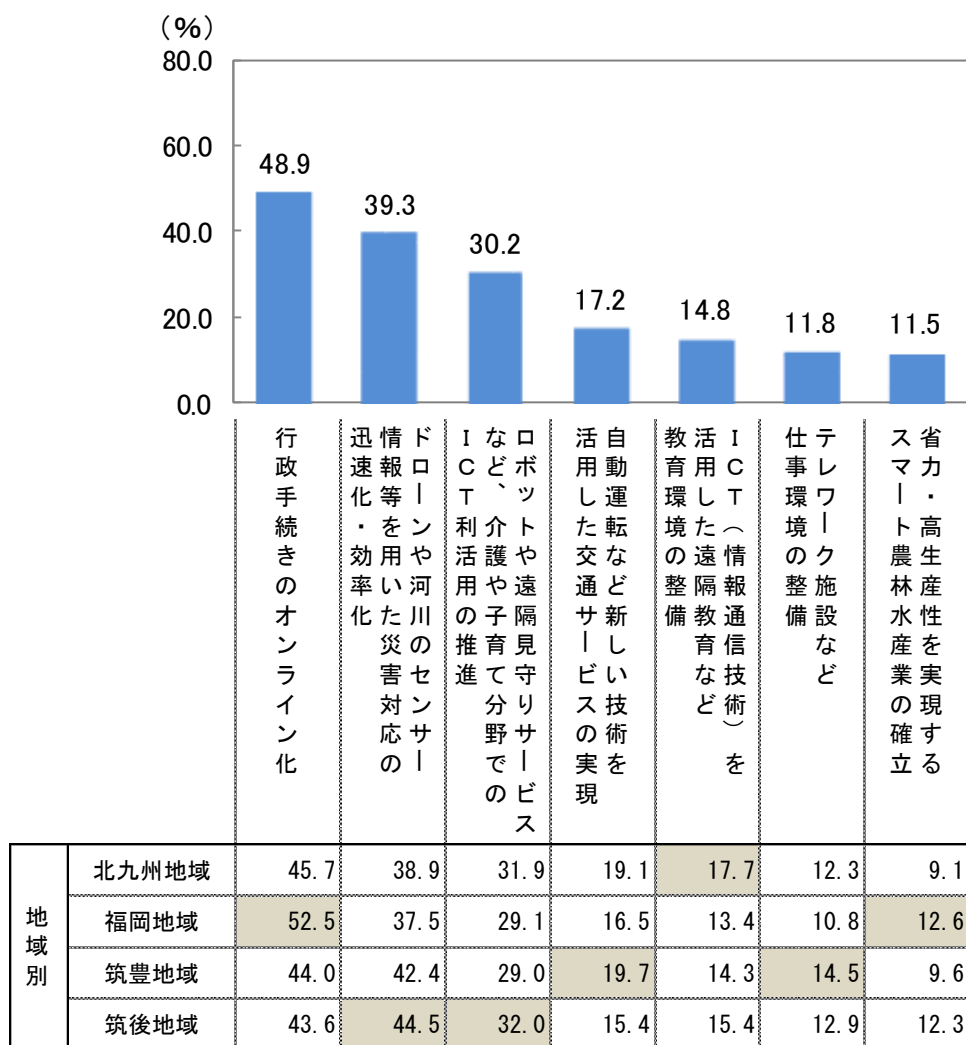
■ は4地域中で最も高い値の地域

(22) デジタル化

県全体では「行政手続きのオンライン化」(48.9%)が最も高く、次いで、「ドローンや河川のセンサー情報等を用いた災害対応の迅速化・効率化」(39.3%)、「ロボットや遠隔見守りサービスなど、介護や子育て分野でのICT利活用の推進」(30.2%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域、福岡地域では「行政手続きのオンライン化」が他地域と比較して高くなっています。

デジタル化



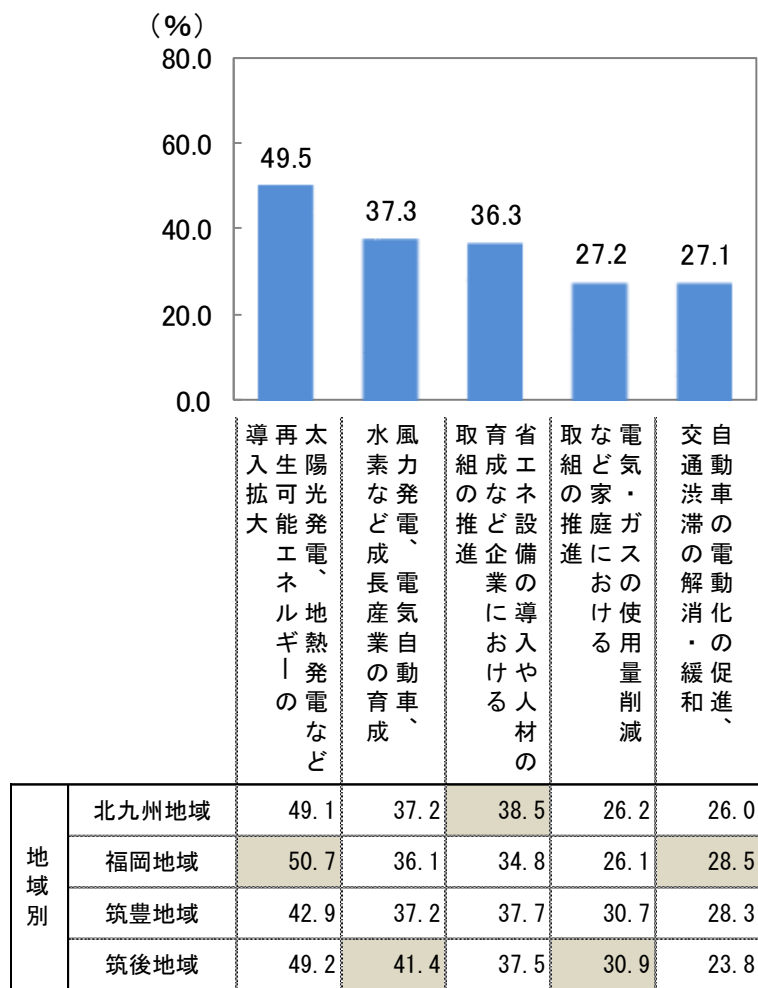
■ は4地域中で最も高い値の地域

(23) グリーン社会

県全体では「太陽光発電、地熱発電など再生可能エネルギーの導入拡大」(49.5%)が最も高く、次いで、「風力発電、電気自動車、水素など成長産業の育成」(37.3%)、「省エネ設備の導入や人材の育成など企業における取組の推進」(36.3%)の順となっています。

地域別にみると、どの地域でも「太陽光発電、地熱発電など再生可能エネルギーの導入拡大」が最も高くなっています。

グリーン社会



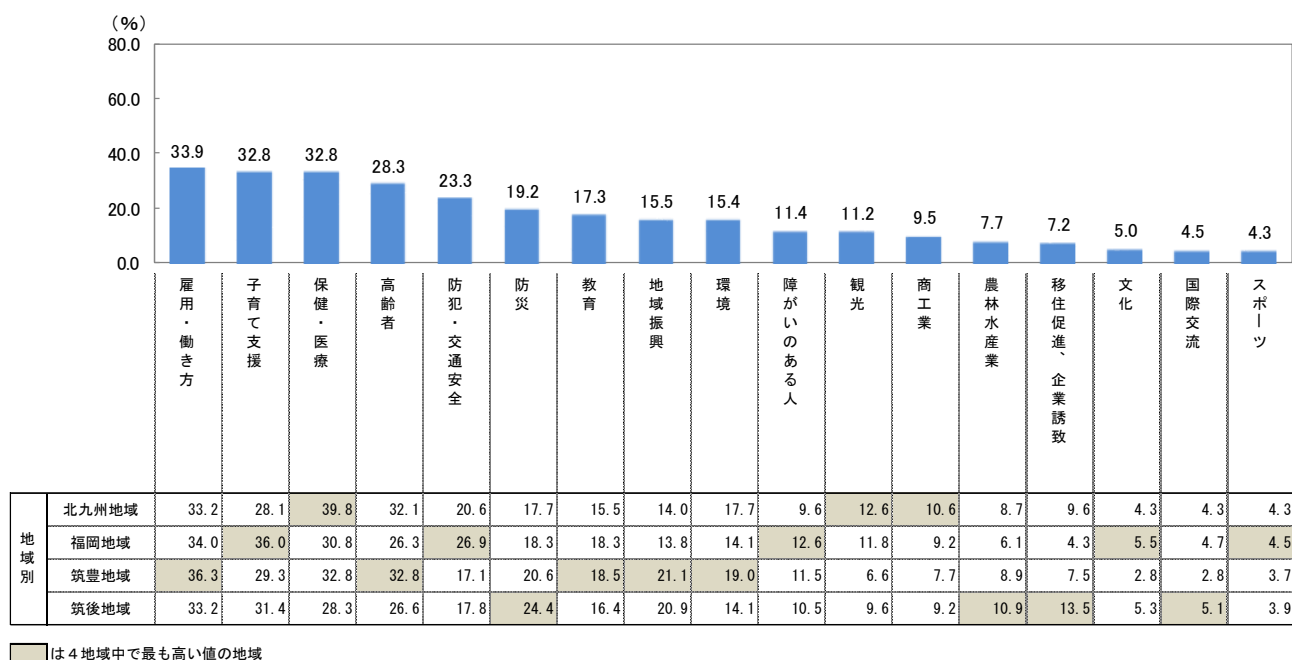
■ は4地域中で最も高い値の地域

(24) 重点分野

県全体では「雇用・働き方」(33.9%)が最も高く、次いで、「子育て支援」(32.8%)、「保健・医療」(32.8%)、「高齢者」(28.3%)の順となっています。

地域別にみると、北九州地域では「保健・医療」、福岡地域では「子育て支援」、「防犯・交通安全」、筑後地域では「防災」が他地域と比較して高くなっています。

重点分野



IV. 資料編

<調査票>

福岡県民ニーズ調査

～記入上の注意点～

1. 必ずご本人（封筒の宛名の方）がお答えください。ただし、ご本人の記入が困難な場合は、ご本人の意見などを代理の方が記入されてもかまいません。
2. 各質問のご回答は、特に説明がないかぎり、あてはまる項目の番号に○をお付けください。質問文に「1つだけ」、「2つ」など指定がある場合は、その指定に従ってお答えください。
3. 質問によっては回答していただく方が限られる場合がありますので、矢印や案内にそってお答えください。
4. 「その他」を選ばれたときは、お手数ですがその内容を（ ）の中に具体的に記入してください。

調査票の回収について

ご記入後、調査票を折って、同封の返信用封筒
（切手不要）に入れ、10月22日（金）までに
郵便ポストに投函してください。

- この調査は無記名で行い、ご回答の内容については、「こういう意見の方が全体の何%」というように、すべて統計数値として集計いたしますので、お答えいただきました方のお名前や個人の回答内容が公表されることは一切ございません。
- これまでに実施した同調査（福岡県民意識調査）の結果は、福岡県のホームページでご覧いただけます。
*インターネット検索で「福岡県民意識調査」とご検索ください。

【お問い合わせ先】

調査主体：福岡県企画・地域振興部総合政策課重点政策班 担当：藤原
住 所：福岡市博多区東公園7番7号
TEL：092-643-3158 FAX：092-643-3160

調査実施機関：株式会社 サーベイリサーチセンター九州事務所 担当：小林
住 所：福岡市博多区博多駅東2丁目6番26号
TEL：092-411-8811 FAX：092-411-8851

1 新型コロナウイルス感染症の影響について

問1 新型コロナウイルス感染症の発生前と現在を比較して、暮らしの面でどのような変化を生じましたか。また、悩みやストレスについて、どちらに相談していますか。

(1)～(3)からあてはまるものすべてを○で囲んでください。

(1) 本人または家族への影響

1. 本人や家族の収入が減少した
2. お金や仕事のことで悩みやストレスが増加した
3. 子どものストレスや学習面での不安が増加した
4. 健康への悩みやストレスが増加した
5. 家事・育児に関する夫婦の役割分担が改善した
6. 家庭内でのトラブル、悩みやストレスが増加した
7. 家族のコミュニケーションが取れるようになった
8. 将来に対する不安が増加した
9. 人間関係のことで悩みやストレスが増加した
10. 悩みやストレスは減少した
11. その他 ()

(2) 悩みやストレスの相談先

1. 家族や友人に相談している
2. 公共や民間の相談窓口を利用している
3. 病院や診療所の医師に相談している
4. LINEやTwitterなどのSNSで相談している
5. 相談する相手がない
6. その他 ()

(3) 余暇、趣味など日々の暮らしへの影響

1. 親しい人との会話や付き合いが減少した
2. 煩わしい人づきあいが減少した
3. お店に行って買い物をするのではなく、ネット通販や宅配など、新たな手法を利用するようになった
4. 外での飲食の機会が減少した
5. 旅行やレジャーの機会が減少した
6. 体験型エンターテインメント（ライブ、映画鑑賞など）の機会が減少した
7. イベントや集会への参加の機会が減少した
8. 運動やスポーツの機会が増加した
9. 趣味や学習などに時間が取れるようになった
10. その他 ()

問2 新型コロナウイルス感染症の発生前と現在を比較して、仕事の面でどのような変化を生じましたか。次の中からあてはまるものすべてを○で囲んでください。

(1) 仕事への影響

1. 仕事が増えた
2. 仕事が減った
3. 職を失った、又は仕事をやめた
4. 転職した
5. 影響はない
6. 仕事をしていない
7. その他 ()

(2) 働き方への影響

1. 副業を始めた
2. テレワークによる場所にとらわれない働き方を行う機会が増えた
3. Web会議システム、デジタル化等、仕事の進め方が変わった
4. 仕事の効率性・生産性が向上・上昇した
5. 仕事よりプライベートを重視するようになった
6. その他 ()

※ テレワーク

ICT（情報通信技術）を活用した時間や場所を有効に活用できる柔軟な働き方のことで、自宅で働く「在宅勤務」、移動中や出先で働く「モバイル勤務」、本拠地のオフィス以外の施設で働く「サテライトオフィス勤務」の総称。

(次代を担う「人財」の育成)

問5 次代を担う「人財」の育成について、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 個性や能力を伸ばす教育
2. 郷土の魅力を学ぶ教育
3. 体験・交流活動の推進
4. 国際交流の推進
5. 就業支援（職業体験・訓練など）
6. 規範意識や人権意識の向上
7. 学力・体力の向上
8. 特定分野（産業、スポーツ、文化芸術など）における人材の育成
9. 次世代のリーダーとなる人材の育成
10. 教育格差の是正
11. その他（ ）

(「世界から選ばれる福岡県」の実現)

問6 福岡県が将来に向かって発展し、世界の舞台で勝負し、選ばれる自治体となるために、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 外国語教育の推進
2. 国際金融拠点の形成 ※
3. 外国人観光客の誘客と観光地づくり
4. 農林水産物、伝統工芸品など、福岡県の誇る県産品の輸出拡大
5. 空港、道路など産業の発展を支える社会基盤の整備
6. 国内外からの企業や人材の誘致による県内産業の発展
7. 科学技術分野における世界的先進地の構築
8. 福岡県の魅力の発信
9. その他（ ）

※ 国際金融拠点の形成

海外の金融事業者や高度金融人材等の誘致・集積を図ること

(雇用、働き方)

問 11 雇用対策について、あなたは行政に対しどのようなことに力をいれてほしいですか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 若者の就職支援
2. 中高年の就職支援
3. 子育て中の女性の就職支援
4. 低所得者、失業者に対する就職・就業支援
5. 障がいのある人の就職支援
6. 人材不足分野への人材移転の推進
7. 労働相談（パワハラ、セクハラなど）への対応
8. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の推進
9. 正規雇用への転換促進、非正規雇用の処遇改善
10. テレワークや時差通勤など多様な働き方の普及
11. その他（ ）

(地域振興)

問 12 2040年の本県の人口について、表1のとおり、福岡都市圏を有する福岡地域では増加が見込まれる一方、他の3地域では減少が見込まれています。

あなたのお住まいの地域では、行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

表1：県内各地域における人口の見通し
(単位：千人)

		2015年	2040年	人口比 (2040年 /2015年)
福岡県計		5,101.5	4,704.8	92.2%
地域	北九州	1,281.1	1,051.1	82.0%
	福岡	2,591.4	2,686.1	103.7%
	筑後	812.4	663.3	81.6%
	筑豊	416.6	304.3	73.0%

資料：2015年：総務省「国勢調査」
2040年：国立社会保障・人口問題研究所 推計(2018年)

1. 地域の雇用の創出につながる企業の誘致
2. 通勤・通学や日常生活の利便性向上につながる交通インフラの整備
3. 農林水産業の振興
4. 教育水準の向上
5. 医療提供体制の確保
6. 移住施策の推進
7. 外国人が暮らしやすい環境づくり
8. 商工業、農林水産業などの産業の発展を担う人材の育成
9. 自治会、町内会などの地域コミュニティの維持・活性化を担う人材の育成
10. 特に力を入れなくて良い
11. その他（ ）

(移住・定住、企業誘致)

問 13 県では、大都市圏からの人の移住や企業の誘致に取り組んでいますが、行政に対しどのようなことに力を入れるべきと考えますか。「移住・定住」「企業誘致」からそれぞれ1つ選び、○で囲んでください。

(1) 移住・定住

1. 県の魅力のPR、セミナーなどの情報発信
2. 移住希望者に対するきめ細かな相談体制の充実
3. 移住先での就職支援
4. 場所を選ばず仕事ができる環境づくり(テレワーク)
5. 人材不足分野(医療福祉、農林水産など)へ就職する場合の移住支援金の支給
6. その他()

(2) 企業誘致

1. 県の魅力のPR、セミナーなどの情報発信
2. 移転を希望する会社に対するきめ細かな相談体制の充実
3. 企業の移転先での優秀な人材の確保
4. 場所を選ばず仕事ができる環境づくり(テレワーク)
5. 移転する企業への支援金の支給
6. その他()

(子育て支援)

問 14 安心して子どもを産み育てることができる社会をつくるために、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 母子保健サービスや医療体制の充実
2. 病児保育の拡充(利用可能施設の増加、予約方法の利便性向上など)
3. 多様な保育サービスの充実(延長保育、休日・夜間保育、放課後児童クラブなど)
4. 待機児童の解消(保育所整備、保育士確保など)
5. 男性の子育て参加や育児休業取得の促進
6. 女性が結婚や出産をしても働き続けることができる職場づくり
7. 子育てをしながら働き続けられる職場環境づくり
8. ひとり親家庭の支援
9. 子育て家庭への経済的負担の軽減
10. 社会全体で子育てを応援する気運の醸成
11. その他()

(教育)

問 15 学校教育において、あなたはどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 学力、体力の向上
2. 道徳、人権など、児童生徒の心を豊かにするための教育
3. いじめ、不登校への対応
4. 教職員の育成
5. スポーツ、芸術など、個性や能力を伸ばす教育
6. 国際感覚を身につける教育
7. 特別支援教育
8. 教育環境の整備(外国人教師配置、ICT環境(タブレット型パソコン)整備など)
9. その他()

(高齢者)

問 16 高齢者が安心して生活できる社会をつくるため、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 再就職や社会参加(ボランティア、スポーツ、文化活動など)の支援
2. 健康寿命を延ばすための取組
3. 住み慣れた地域で安心して暮らし続けるための支援(医療、介護、予防、住まい、生活支援などのサービスの一体的な提供)
4. 一人暮らしや認知症の方々の地域での見守り活動
5. 介護する家族の負担軽減
6. 介護・福祉サービス人材の育成・確保
7. 快適に暮らせるまちづくり(住宅の整備、バリアフリーなど)
8. 買い物弱者対策
9. その他()

(障がいのある人)

問 17 障がいのある人が安心して生活できる社会をつくるため、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 障がいのある人の就職支援
2. 障がいのある人の収入向上
3. 障がいのある人の社会参加
4. 障がい者スポーツの推進
5. 不当な差別的取扱いの禁止
6. 合理的配慮の提供 ※1
7. 医療的ケア児の支援 ※2
8. 快適に暮らせるまちづくり（住宅の整備、バリアフリーなど）
9. その他（ ）

※1 合理的配慮

社会の中にあるバリアを取り除くため、障がいのある人から何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられた時に、負担が重すぎない範囲で対応すること
例) 段差解消のためスロープを使用すること

※2 医療的ケア児

医学の進歩を背景として、NICU(新生児集中治療室)等に長期入院した後、引き続き人工呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引や経管栄養などの医療的ケアが日常的に必要な児童のこと

(保健・医療)

問 18 健康で長生きすることができる社会づくりのために、あなたは行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 自主的な健康づくりの支援
2. 生活習慣病対策
3. がん対策
4. むし歯、歯周病対策
5. こころの健康、ひきこもり、自殺防止対策
6. 難病患者への支援
7. 感染症対策
8. 救急医療体制の確保
9. へき地医療対策
10. 医療・看護を担う人材の育成・確保
11. その他（ ）

(デジタル化)

問 24 本年5月、デジタル改革関連法が成立し、9月にデジタル庁が設置されました。デジタル化により、以下のことが期待できるとされています。

- ・人工知能やロボットの活用により、健康管理や介護の質の向上が期待できる
- ・遠隔教育など、教育の質の向上が期待できる
- ・役所に行かずに行政手続きができる
- ・商工業、農林水産業の高付加価値化、省力化が期待できる など

あなたは、行政に対しどのようなことに力を入れてほしいですか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 行政手続きのオンライン化
2. ICT（情報通信技術）を活用した遠隔教育など教育環境の整備
3. テレワーク施設など仕事環境の整備
4. ロボットや遠隔見守りサービスなど、介護や子育て分野でのICT利活用の推進
5. 自動運転など新しい技術を活用した交通サービスの実現
6. ドローンや河川のセンサー情報等を用いた災害対応の迅速化・効率化
7. 省力・高生産性を実現するスマート農林水産業の確立
8. その他（ ）

(グリーン社会)

問 25 地球温暖化は、豪雨による災害、熱中症の増加、農作物の品質低下など、様々な影響をもたらすため、国では、「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、2030年度の温室効果ガスの排出を2013年度比46%削減することとしました。温室効果ガスの排出削減のため、行政に対しどのようなことに力をいれるべきと考えますか。次の中から2つまで選び、○で囲んでください。

1. 電気・ガスの使用量削減など家庭における取組の推進
2. 省エネ設備の導入や人材の育成など企業における取組の推進
3. 自動車の電動化の促進、交通渋滞の解消・緩和
4. 太陽光発電、地熱発電など再生可能エネルギーの導入拡大
5. 風力発電、電気自動車、水素など成長産業の育成
6. その他（ ）

(交通)

問 26

(1) 日常生活での「移動手段」について、目的ごとに選択肢からあてはまるものをすべて選び、番号を記載してください。

目的	移動手段 【あてはまるものすべて】
A 通勤・通学	
B 日常の買い物や通院等	
C 休日のレジャーや旅行等（余暇や自由に使える時間を使って行う娯楽や遊び）	

【選択肢】

1. 鉄道（地下鉄、モノレール含む） 2. バス（高速バス、コミュニティバス含む）
 3. デマンド交通（乗合タクシー、デマンドバス等） 4. タクシー
 5. 自家用車（二輪車を含む） 6. 自転車
 7. 徒歩 8. 通勤・通学はしていない
 9. その他（ ）



(2) は5～7を選択された方のみ回答

(2) 日常生活で「公共交通機関（鉄道、バス等）を利用しない理由」について、目的ごとに選択肢からあてはまるものを3つまで選び、番号を記載してください。

目的	公共交通機関（鉄道、バス等）を利用しない理由【3つまで】
A 通勤・通学	【(1)Aで5～7を選択された方のみ回答】
B 日常の買い物や通院等	【(1)Bで5～7を選択された方のみ回答】
C 休日のレジャーや旅行等（余暇や自由に使える時間を使って行う娯楽や遊び）	【(1)Cで5～7を選択された方のみ回答】

【選択肢】

1. 鉄道やバスのダイヤが不便（本数が少ないなど）だから
 2. 自家用車やバイクの方が目的地までの所要時間が短くて済むから
 3. 駅やバス停が遠いから
 4. 駅やバス停に駐車場や駐輪場、エレベーターがないなど、使いづらいから
 5. 家から直接目的地に行けたり、車内等で過ごす間、他人を気にする必要がないなど、自家用車やバイクの方が快適だから
 6. 自家用車やバイクの方が荷物を持って移動しなくて済むから
 7. 家から目的地までが近距離なので、公共交通機関を利用する必要がないから
 8. 新型コロナウイルス感染症が怖いから
 9. その他（ ）

問 27 あなたは今後、どのような交通施策に取り組んでほしいですか。(1)、(2) それぞれにおいて3つまで選び、○で囲んでください。

(1) ハード整備

1. 空港や港湾、都心部へのアクセス性向上のための道路整備
2. 高速道路、都市高速道路の整備
3. 地域の幹線道路網の整備
4. 身近な生活道路や歩道の整備
5. 観光地へのアクセス性向上のための道路や案内標識の充実
6. 渋滞対策のための道路整備
7. 交通施設の耐震化、複数の移動手段の確保など防災対策の強化
8. 空港利用促進のための空港機能の強化
9. 港湾利用促進のための港湾機能の強化
10. 公共交通や歩道等のバリアフリー化の推進
11. 自転車専用通行帯や駐輪場など自転車利用環境の整備
12. その他 ()

(2) ソフト施策

1. バス、鉄道、離島航路など公共交通の維持・確保
2. 鉄道の利便性向上や利用促進策の強化（列車の増便、ICカード利用など）
3. 地域内の移動手段であるコミュニティバスなどの便数や路線の充実
4. 複数の交通機関の乗継利便性の向上（鉄道とバス、路線バスとコミュニティバスなど）
5. インターネットやアプリによる情報サービスの充実（バスの位置情報、経路検索など）
6. 駅舎など既存交通施設の有効活用
7. 渋滞対策や公共交通利用促進のためのパークアンドライドの推進
8. 自動運転など新しい技術を活用した交通サービスの実現
9. 環境に配慮した自動車の普及（電気自動車や燃料電池自動車など）
10. 高齢者をはじめとする交通事故抑止対策や飲酒運転撲滅対策の推進
11. その他 ()

問 29 以下の17分野のうち、あなたはどの分野に力を入れてほしいですか。次の中から3つ選び、○で囲んでください。

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 商工業 | 10. 障がいのある人 |
| 2. 観光 | 11. 保健・医療 |
| 3. 農林水産業 | 12. 文化 |
| 4. 雇用・働き方 | 13. スポーツ |
| 5. 地域振興 | 14. 国際交流 |
| 6. 移住促進、企業誘致 | 15. 防災 |
| 7. 子育て支援 | 16. 防犯・交通安全 |
| 8. 教育 | 17. 環境 |
| 9. 高齢者 | |

問 30 上記以外で、あなたが福岡県に期待することや特に力を入れて欲しいこと、あなたが思い描く将来の福岡県の姿など、ご自由にお書きください。

()

【参考設問】

Q1： 県では、性別によって差別されることなく、人権が尊重され、社会のあらゆる分野で能力を発揮できるよう取組をすすめています。

このことについて、以下の2つのことをお尋ねしますので、「思う」「思わない」のいずれかを○で囲んでください。

- (1) 日々の暮らしの中で、性別による差別を感じることもある
(1. 思う 2. 思わない)
- (2) 仕事の中で、性別による差別を感じることもある (1. 思う 2. 思わない)
※ (2) は仕事をされている方のみ回答

Q2： NPOの活動やボランティア活動（以下、社会活動という）について、以下の2つのことをお尋ねしますので、あてはまる選択肢を○で囲んでください。

- (1) 社会活動の経験はありますか (1. ある 2. ない)
- (2) あなたは、今後、社会活動に参加してみたいですか (1. はい 2. いいえ)
- (3) 【(2) で「はい」と回答した方】どのような社会活動に参加してみたいですか
(1. 被災地支援、2. 地域交流、3. 子育て、4. 環境、5. 国際交流
6. スポーツ、7. 文化、8. 教育、9. その他 ())
※あてはまるものすべてご回答ください。

Q3： 今お住まいのあなたの地域で実感することについて、次の中からあてはまるものすべてを○で囲んでください。

1. 若い世代が少ない
2. 買い物がしづらい（店舗数の減少）
3. 空き家が多い
4. 働く場が少ない
5. 病院が少ない
6. 公共交通機関（バス、鉄道など）が少ない
7. 道路が整備されていない
8. 地域の担い手（町おこし、消防団など）が少ない
9. その他 ()

Q4：あなたは、SDGs（エスディーゼーズ）という言葉聞いたことがありますか。あてはまるものを1つ選び、○で囲んでください。

1. 良く知っている
2. 少し知っている
3. 聞いたことがあるが、内容は知らない
4. 聞いたことはない



※SDGs（Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標）

「誰一人取り残さない」社会の実現を目指し、経済、社会、環境をめぐる広範な課題に取り組む、2030年までの達成を目指す国際目標のこと。

Q5：あなたは、この1年間に、ホール、劇場、美術館などで、料金を支払い、文化芸術を鑑賞したり、体験したりしたことはありますか。次の中からあてはまるものすべてを○で囲んでください。

- | | | | | |
|----------|-------------|-----------------|---------|----------|
| 1. 音楽 | 2. 美術 | 3. 演劇、舞踏 | 4. 伝統芸能 | 5. 茶道・華道 |
| 6. 映画 | 7. 歴史的建物、史跡 | 8. 鑑賞、体験したものはなし | | |
| 9. 分からない | 10. その他（ | | | ） |

【基本項目】

ご意見をお尋ねするのは、以上で終わりですが、お答えいただいたご意見を統計的に分析するため、あなたご自身のことやご家族のことについて、差し支えない範囲でお聞かせください。

F 1. あなたの性別を以下の欄にご記入ください

(記入欄)

F 2. あなたの年齢（記入日現在）はおいくつですか。1つだけ選び、○で囲んでください。（○は1つだけ）

1. 18・19歳	5. 50～59歳
2. 20～29歳	6. 60～69歳
3. 30～39歳	7. 70歳以上
4. 40～49歳	

F 3. あなたの職業はどれにあたりますか。1つだけ選び、○で囲んでください。（○は1つだけ）

1. 農林水産業（家族従事者を含む）	5. 家事専業
2. 自営業・自由業（家族従事者を含む）	6. 学生
3. 企業、役所、団体などの正規職員	7. 無職（定年退職者を含む）
4. パート・アルバイト、契約社員、派遣社員など	8. その他 ()

F 4. あなたはお子さんがいらっしゃいますか。同居、別居は問いません。1つだけ選び、○で囲んでください。（○は1つだけ）

1. いる	2. いない
-------	--------

F 4-2. お子さんがいらっしゃる方（「F 4.」で「1」を選択した方）のみにお尋ねします。小学校入学前（乳幼児を含む）のお子さんがいらっしゃいますか。1つだけ選び、○で囲んでください。（○は1つだけ）

1. いる	2. いない
-------	--------

F 5. 現在お住いの市町村名についてお尋ねします。1つだけ選び、○で囲んでください。

(○は1つだけ)

北九州地域	福岡地域	筑豊地域	筑後地域
1. 北九州市	14. 福岡市	34. 直方市	49. 大牟田市
2. 行橋市	15. 筑紫野市	35. 飯塚市	50. 久留米市
3. 豊前市	16. 春日市	36. 田川市	51. 柳川市
4. 中間市	17. 大野城市	37. 嘉麻市	52. 八女市
5. 遠賀郡芦屋町	18. 宗像市	38. 宮若市	53. 筑後市
6. 遠賀郡水巻町	19. 太宰府市	39. 鞍手郡小竹町	54. 大川市
7. 遠賀郡岡垣町	20. 古賀市	40. 鞍手郡鞍手町	55. 小郡市
8. 遠賀郡遠賀町	21. 福津市	41. 嘉穂郡桂川町	56. うきは市
9. 京都郡苅田町	22. 朝倉市	42. 田川郡香春町	57. みやま市
10. 京都郡みやこ町	23. 糸島市	43. 田川郡添田町	58. 三井郡大刀洗町
11. 築上郡吉富町	24. 那珂川市	44. 田川郡糸田町	59. 三潴郡大木町
12. 築上郡上毛町	25. 糟屋郡宇美町	45. 田川郡川崎町	60. 八女郡広川町
13. 築上郡築上町	26. 糟屋郡篠栗町	46. 田川郡大任町	
	27. 糟屋郡志免町	47. 田川郡赤村	
	28. 糟屋郡須恵町	48. 田川郡福智町	
	29. 糟屋郡新宮町		
	30. 糟屋郡久山町		
	31. 糟屋郡粕屋町		
	32. 朝倉郡筑前町		
	33. 朝倉郡東峰村		

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。

*ご記入後、アンケート調査票を折って、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、10月22日（金）までに郵便ポストに投函してください。